

科目No 210206000
 ナンバリングコード V1BB0201
 科目名 獣医解剖学II
 学科 獣医学科
 科目区分 必修
 授業区分 講義
 単位数 2
 学年 1
 単位認定者
 科目担当者 添田 聡
 大塚 裕忠
 黄 美貴

全体目標	牛, 馬, 豚, 犬, ウサギおよび鶏を対象とし, 動物の肉眼的構造について理解することを目的として, 身体の基本構造について学びつつ, 呼吸器系, 泌尿器系, 生殖器系, 循環器系, リンパ系, 内分泌系, 神経系の解剖学用語について理解し, 対象動物間の解剖学的な差異, 器官が担う機能と構造の対応関係, 器官の臨床上の重要性を理解する。
獣医学教育モデル・コア・カリキュラム/講義科目番号	【1-4】
一般目標	呼吸器系, 泌尿器系, 生殖器系, 循環器系, リンパ系, 内分泌系, 神経系の名称, 解剖学的構造, 位置関係, 機能について理解する。
獣医学教育モデル・コア・カリキュラム/内容番号	【9~13,16~19】
事前履修科目・履修に必要な予備知識や技能	高等学校レベルの生物学一般と化学一般および獣医解剖学Iを理解しておく必要がある。
履修上の留意点	途中で中間試験により実施到達度の確認を行う。
授業期間を通して出される課題	
授業外学修の具体的な指示, 時間の目安	内容の理解を深めるため次回の講義で取り扱う資料を事前に読むこと (100分) 自宅で授業内容のまとめと整理を資料などを基に時間ごとに整理する (100分)
テキスト, 参考文献他	「カラーアトラス獣医解剖学 上・下巻」緑書房 (チクサン出版社) 「獣医解剖・組織・発生学 第2版」学窓社 「イヌとネコの臨床解剖学」ファームプレス(株)

授業形態 資料と教科書に基づく口述形式

	種別	評価割合(%)	評価方法
成績評価基準	定期試験	100	試験結果
	レポート試験	0	必要に応じて行う
	平常点評価	0	必要に応じて行う（毎時間簡単な確認を行う）
	評価のフィードバック方法		評価結果は学修支援システムを通じて個別に通知する。
	再試験	実施しない	

成績評価基準（ループリック）

概要・スケジュール

回数	年月日	時限	担当者	教室	授業形式
1.	2021/09/28(火)	1 時限	大塚 裕忠	B314	講義
	タイトル	消化器系			
	授業内容	口腔と咽頭、口腔と咽頭に関連する器官・組織（口腔腺、扁桃、歯、舌）の構造、位置関係、および動物間の差異、食道、胃、腸の構造、位置関係、および動物間の差異、肝臓各部の名称、肝臓の分葉の動物間の差異、膵臓各部の名称について学ぶ。			
2.	2021/10/05(火)	1 時限	大塚 裕忠	B314	講義
	タイトル	消化器系			
	授業内容	口腔と咽頭、口腔と咽頭に関連する器官・組織（口腔腺、扁桃、歯、舌）の構造、位置関係、および動物間の差異、食道、胃、腸の構造、位置関係、および動物間の差異、肝臓各部の名称、肝臓の分葉の動物間の差異、膵臓各部の名称について学ぶ。			
3.	2021/10/12(火)	1 時限	大塚 裕忠	B314	講義
	タイトル	消化器系			
	授業内容	口腔と咽頭、口腔と咽頭に関連する器官・組織（口腔腺、扁桃、歯、舌）の構造、位置関係、および動物間の差異、食道、胃、腸の構造、位置関係、および動物間の差異、肝臓各部の名称、肝臓の分葉の動物間の差異、膵臓各部の名称について学ぶ。			
4.	2021/10/19(火)	1 時限	黄 美貴	B314	講義
	タイトル	呼吸器			
	授業内容	鼻腔、副鼻腔、喉頭、気管の構造、および位置関係、および肺、気管支の構造、位置関係、および動物間の差異について学ぶ。			
5.	2021/10/26(火)	1 時限	黄 美貴	B314	講義
	タイトル	泌尿器			
	授業内容	腎臓各部の構造と動物間の差異、および尿管、膀胱、尿道の構造について学ぶ。			
6.	2021/11/02(火)	1 時限	黄 美貴	B314	講義
	タイトル	オスの生殖器			
	授業内容	オスの生殖器の構造、位置関係、および動物間の差異について学ぶ。			
7.	2021/11/09(火)	1 時限	黄 美貴	B314	講義
	タイトル	メスの生殖器			
	授業内容	メスの生殖器の構造、位置関係、および動物間の差異について学ぶ。			
8.	2021/11/16(火)	1 時限	大塚 裕忠 黄 美貴	B314	その他
	タイトル	中間試験			
	授業内容	第1回から第7回までの内容を確認する対面試験を行う。			
9.	2021/11/30(火)	1 時限	添田 聡	B314	講義
	タイトル	循環器系			
	授業内容	体循環系、肺循環系、心臓の構造、主な動脈、大動脈弓からの動脈の分岐の家畜による違い、主な静脈、リンパ管の総論的な名称、リンパ流の流路、および前肢および後肢の筋の位置関係と作用、動物間の差異について学ぶ。			
10.	2021/12/07(火)	1 時限	大塚 裕忠	B314	講義
	タイトル	循環器系			
	授業内容	体循環系、肺循環系、心臓の構造、主な動脈、大動脈弓からの動脈の分岐の家畜によ			

	授業内容	る違い、主な静脈、リンパ管の総論的な名称、リンパ流の流路、および前肢および後肢の筋の位置関係と作用、動物間の差異について学ぶ。			
	2021/12/14(火)	1 時限	大塚 裕忠	B314	講義
11.	タイトル	リンパ系			
	授業内容	扁桃の名称と位置、胸腺、脾臓の位置と各部名称、リンパ節（中心）の名称について学ぶ。			
	2021/12/21(火)	1 時限	黄 美貴	B314	講義
12.	タイトル	内分泌系			
	授業内容	甲状腺、上皮小体、副腎、傍節、下垂体、松果体の構造、位置、および動物間の差異について学ぶ。			
	2022/01/11(火)	1 時限	添田 聡	B314	講義
13.	タイトル	神経系			
	授業内容	神経に関する一般的な概念と対応する構造、脳脊髄液の流路、大脳、小脳、脳幹の構造の概略、脊髄の構造、延髄、橋、中脳、間脳の構造、小脳の構造、大脳の構造、脳神経の走行と機能に関する概要、主要な脊髄神経の走行と機能、および自律神経の走行と機能に関する概要について学ぶ。			
	2022/01/18(火)	1 時限	添田 聡	B314	講義
14.	タイトル	神経系			
	授業内容	神経に関する一般的な概念と対応する構造、脳脊髄液の流路、大脳、小脳、脳幹の構造の概略、脊髄の構造、延髄、橋、中脳、間脳の構造、小脳の構造、大脳の構造、脳神経の走行と機能に関する概要、主要な脊髄神経の走行と機能、および自律神経の走行と機能に関する概要について学ぶ。			

その他 ※100分の授業に対して、講義科目は200分、演習科目は50分の授業外学修時間が必要である。

科目No	210209000
ナンバリングコード	V1BB0501
科目名	獣医組織学
学科	獣医学科
科目区分	必修
授業区分	講義
単位数	2
学年	1
単位認定者	
科目担当者	添田 聡 大塚 裕忠 黄 美貴

全体目標	牛、馬、豚、犬、鶏および実験動物を主な対象とし、動物体を構成する細胞の微細構造と細胞集団としての組織、器官の組織構造と細胞構成を理解し、代表的な組織学、細胞学用語を修得する。また、器官および系が担う機能について、組織、細胞レベルの構造と対応させて理解する。
獣医学教育モデル・コア・カリキュラム/講義科目番号	【1-5】
一般目標	牛、馬、豚、犬、鶏および実験動物を主な対象とし、動物体を構成する細胞の微細構造と機能を理解し、上皮組織、結合組織、支持組織、筋肉、神経組織、血液、骨髄、心臓血管系とリンパ組織、消化器系、呼吸器系、雌雄生殖器系、内分泌系、感覚器系、神経系、外皮系の組織構造と機能を理解し、修得する。
獣医学教育モデル・コア・カリキュラム/内容番号	【1-16】
事前履修科目・履修に必要な予備知識や技能	高等学校レベルの生物学一般と化学一般を理解しておく必要がある。
履修上の留意点	途中で中間試験により実施到達度の確認を行う。
授業期間を通して出される課題	各授業後でのチェック（質問）
授業外学修の具体的な指示、時間の目安	自宅で授業内容のまとめと整理を教科書を基に時間ごとに整理する。
	「獣医組織学 第八版」日本獣医解剖学会 編，学窓社

テキスト、参考文献他 「獣医組織学実習マニュアル 新版」学窓社
「獣医臨床組織学」ファームプレス(株)

授業形態 資料と教科書に基づく遠隔授業

	種別	評価割合(%)	評価方法
成績評価基準	定期試験	100	試験結果
	レポート試験	0	必要に応じて行う
	平常点評価	0	必要に応じて行う（毎時間簡単な確認を行う）
	評価のフィードバック方法	評価結果は学修支援システムを通じて個別に通知する。	
	再試験	実施しない	

成績評価基準（ループリック）

概要・スケジュール

回数	年月日	時限	担当者	教室	授業形式
1.	2021/09/24(金)	1 時限	添田 聡	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル 総論、細胞 授業内容 組織学入門・細胞学			A. 組織学の歴史 B. 組織学用語 C. 細胞	
2.	2021/10/01(金)	1 時限	添田 聡	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル 上皮、支持組織 授業内容 上皮組織・支持組織			D. 上皮 E. 支持組織	
3.	2021/10/08(金)	1 時限	添田 聡	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル 上皮、支持組織 授業内容 上皮組織・支持組織			D. 上皮 E. 支持組織	
4.	2021/10/15(金)	1 時限	添田 聡	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル 骨、軟骨 授業内容 上皮組織・支持組織			D. 上皮 E. 支持組織	
5.	2021/10/22(金)	1 時限	大塚 裕忠	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル 筋、神経 授業内容 筋組織・神経組織			F. 筋組織 G. 神経組織	
6.	2021/10/29(金)	1 時限	大塚 裕忠	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル 脈管、リンパ 授業内容 脈管系・リンパ性器官			H. 脈管系 I. リンパ性器官	
7.	2021/11/12(金)	1 時限	添田 聡 大塚 裕忠	B512	その他
	タイトル 中間試験 授業内容 第1回から第6回までの内容を確認する対面試験を行う。				
8.	2021/11/19(金)	1 時限	大塚 裕忠	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル 消化器1 授業内容 消化器系			J. 消化器系	
9.	2021/11/26(金)	1 時限	大塚 裕忠	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル 消化器2 授業内容 消化器系			J. 消化器系	
10.	2021/12/03(金)	1 時限	黄 美貴	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル 呼吸器 授業内容 呼吸器系			K. 呼吸器系	
11.	2021/12/10(金)	1 時限	黄 美貴	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル 泌尿器系 授業内容 腎臓、尿管、膀胱、尿路				
12.	2021/12/17(金)	1 時限	黄 美貴	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル 生殖器系 授業内容 生殖器系			M 1. 雄性生殖器 M 2. 雌性生殖器	
	2021/12/24(金)	1 時限	添田 聡	遠隔授業	遠隔授業

13. タイトル 内分泌系
授業内容 副腎、甲状腺、視床下部、睪島、胃腸内分泌細胞
2022/01/07(金) 1 時限 添田 聡 遠隔授業 遠隔授業
14. タイトル 感覚器系
授業内容 眼、耳、嗅覚系、味蕾系

その他 ※100分の授業に対して、講義科目は200分、演習科目は50分の授業外学修時間が必要である。

Copyright FUJITSU LIMITED 2005-2011

科目No	210210000
ナンバリングコード	
科目名	獣医発生学
学科	獣医学科
科目区分	必修
授業区分	講義
単位数	2
学年	2
単位認定者	
科目担当者	大塚 裕忠 黄 美貴 添田 聡

全体目標	獣医学で対象とする動物体を構成する組織や器官あるいは個体の発生過程を学習することにより、個体の発生、組織、器官の分化および成熟過程の調節のしくみを理解するための基礎知識を修得する。
獣医学教育モデル・コア・カリキュラム/講義科目番号	【1-6】
一般目標	原始生殖細胞の由来および精子発生と卵子発生、受精と卵割および、原腸胚期からの胚葉分化、および、体膜、胎盤の発生を理解し、修得する。
獣医学教育モデル・コア・カリキュラム/内容番号	【1,2,8】
事前履修科目・履修に必要な予備知識や技能	高等学校レベルの生物学一般と化学一般を理解しておく必要がある。
履修上の留意点	授業毎に出される課題に対するレポートの内容をもって評価を行う。
授業期間を通して出される課題	課題に対するレポートを作成し提出する。
授業外学修の具体的な指示、時間の目安	内容の理解を深めるため次回の講義で取り扱う項目について教科書を事前に読むこと（100分） 自宅で授業内容のまとめと整理、および課題に対するレポートの作成を、教科書や資料などを基に時間ごとに整理する（100分）
テキスト、参考文献他	「獣医発生学 第2版」学窓社 獣医学教育モデル・コア・カリキュラム準拠「獣医解剖・組織・発生学 第2版」学窓社
授業形態	資料と教科書に基づく遠隔授業

	種別	評価割合(%)	評価方法
成績評価基準	定期試験	0	随時レポートの内容の評価を行う 評価結果は学修支援システムを通じて個別に通知する。
	レポート試験	100	
	平常点評価	0	
	評価のフィードバック方法		
	再試験	実施する	

成績評価基準 (ループリック)

概要・スケジュール

回数	年月日	時限	担当者	教室	授業形式
1.	2021/04/14(水)	1時限	大塚 裕忠	遠隔授業	遠隔授業
		タイトル 発生学総論1 授業内容 発生学概要			
2.	2021/04/21(水)	1時限	大塚 裕忠	遠隔授業	遠隔授業
		タイトル 発生学総論2 授業内容 細胞周期と細胞分裂の仕組み			
3.	2021/04/28(水)	1時限	大塚 裕忠	遠隔授業	遠隔授業
		タイトル 発生学総論3 授業内容 受精と卵割			
4.	2021/05/12(水)	1時限	大塚 裕忠	遠隔授業	遠隔授業
		タイトル 発生学総論4 授業内容 胚形成と胚葉分化			
5.	2021/05/19(水)	1時限	添田 聡	遠隔授業	遠隔授業
		タイトル 発生学総論5 授業内容 胎膜			
6.	2021/05/26(水)	1時限	添田 聡	遠隔授業	遠隔授業
		タイトル 発生学総論6 授業内容 胎盤			
7.	2021/06/02(水)	1時限	添田 聡	遠隔授業	遠隔授業
		タイトル 発生学総論7 授業内容 発生学総論まとめ			
8.	2021/06/09(水)	1時限	添田 聡	遠隔授業	遠隔授業
		タイトル 発生各論1 授業内容 循環器系の発生			
9.	2021/06/16(水)	1時限	添田 聡	遠隔授業	遠隔授業
		タイトル 発生各論2 授業内容 臓側中胚葉と壁側中胚葉の発生			
10.	2021/06/23(水)	1時限	添田 聡	遠隔授業	遠隔授業
		タイトル 発生各論3 授業内容 沿軸中胚葉の発生			
11.	2021/06/30(水)	1時限	大塚 裕忠	遠隔授業	遠隔授業
		タイトル 発生各論4 授業内容 中間中胚葉の発生 泌尿生殖器の発生			
12.	2021/07/07(水)	1時限	大塚 裕忠	遠隔授業	遠隔授業
		タイトル 発生各論5 授業内容 中枢神経系の発生 a神経系の発生 b神経堤の発生			
13.	2021/07/14(水)	1時限	大塚 裕忠	遠隔授業	遠隔授業
		タイトル 発生各論6 授業内容 表面外胚葉の発生			
14.	2021/07/21(水)	1時限	大塚 裕忠	遠隔授業	遠隔授業
		タイトル 発生各論7 授業内容 内胚葉系および内分泌系の発生			

※100分の授業に対して、講義科目は200分、演習科目は50分の授業外学修時間が必要である

その他 る。

Copyright FUJITSU LIMITED 2005-2011

科目No	210213000
ナンバリングコード	
科目名	獣医生理学II
学科	獣医学科
科目区分	必修
授業区分	講義
単位数	2
学年	2
単位認定者	
科目担当者	鈴木 浩悦 片山 健太郎

全体目標	獣医生理学では、主として哺乳類の細胞や器官の機能に関する基本的知識を修得するとともに、生体内で起こる各種の情報伝達と生体恒常性維持の機序を理解し、調和のとれた個体の生命現象を統合的に捉える考え方を身につける。さらに、種の違いによる多様性について理解を深めるとともに、獣医学領域の疾患とそれに対する治療法を理解する上で生理学が基本となることを理解する。
獣医学教育モデル・コア・カリキュラム/講義科目番号	【1-7】
一般目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 骨格筋の特性および収縮の分子機構を学び、他の筋収縮との差異を理解する。 2. 肺呼吸について学び、動物が酸素を取り入れ二酸化炭素を排出する機構を理解する。 3. 呼吸運動について学び、それを調節する機構を理解する。 4. 鳥類の呼吸の特徴について理解する。 5. 心臓が血液を駆出する機序を学び、それを調節する機構を理解する。 6. 各組織をめぐる血液循環について学び、各種血管の機能と圧調節機構を理解する。
獣医学教育モデル・コア・カリキュラム/内容番号	【6, 10, 17-20】
事前履修科目・履修に必要な予備知識や技能	生理学Iの知識が必要である。構造と機能は表裏一体であり、同時進行中の解剖学や組織学が参考になるだろう。
履修上の留意点	遠隔授業を中心とする。学修支援システムを介して講義資料と解説動画を提供する。視聴の有無をチェックし、成績に反映させるので、必ず視聴すること。リアルタイムないし対面講義を行う場合は、事前に通知する。不明なことがあれば、メール等で連絡してもらえれば対応する。
授業期間を通して出される課題	毎回の講義において、簡単なレポートの提出と、確認テストの受験を必須とする。
	解説動画の一回の視聴で内容が理解できない場合は、繰り返し視聴することで、授業の理

授業外学修の具体的な指示、時間の目安
 解に役立つ。課題レポートは教科書を読み、対応部分を抜粋することで、解答できる形のものなので、これを行うことで教科書の内容の理解につながる（約100分間）講義内容を網羅した確認テストを解答することで講義内容の定着を目指す（100分間）。これらの過程でわからないことは、メール等で連絡をもらえれば回答する。場合によってはその内容を学習支援システムを介して履修者全員で共有する。

テキスト、参考文献他
 教科書としてデュークス獣医生理学（学窓社）を指定する。参考図書として生理学ガイドブック（無料配布）、シンプル生理学（南江堂）、ギャノン生理学（丸善）、標準生理学（医学書院）、ガイトン生理学（エルゼビア）などを推奨する。

授業形態
 教科書およびスライドを用いた講義動画を主体とする。レポートおよび確認テストにより内容の理解と定着を目指す。質問はメール等で常に受け付ける。回答はできる限り速やかに行い、重要なものは全体で共有する。

	種別	評価割合(%)	評価方法
成績評価基準	定期試験	50	定期試験期間内に実施する予定。状況により、視聴状況、レポート提出、確認テストの成績などによってのみの評価に切り替える。
	レポート試験	25	原則毎回の講義でレポート有り
	平常点評価	25	視聴状況と確認テストの結果
	評価のフィードバック方法	定期試験の評価結果を本人に開示し、質問を受け付ける。	
	再試験		原則行わないが、状況により行うことがある。

成績評価基準（ループリック）

概要・スケジュール

回数	年月日	時限	担当者	教室	授業形式
1.	2021/04/07(水)	2時限	片山 健太郎	B311 B312	講義
	タイトル 授業内容	骨格筋（骨格筋の特性と興奮収縮連関）			
2.	2021/04/14(水)	2時限	片山 健太郎	B311 B312	講義
	タイトル 授業内容	骨格筋（筋の感覚受容器、エネルギー代謝、平滑筋の特性）			
3.	2021/04/21(水)	2時限	鈴木 浩悦	B311 B312	講義
	タイトル 授業内容	呼吸系の概要			
4.	2021/04/28(水)	2時限	鈴木 浩悦	B311 B312	講義
	タイトル 授業内容	物理的側面から見た呼吸			
5.	2021/05/12(水)	2時限	鈴木 浩悦	B311 B312	講義
	タイトル 授業内容	肺の換気とガス輸送			
6.	2021/05/19(水)	2時限	鈴木 浩悦	B311 B312	講義
	タイトル 授業内容	呼吸の調節			
7.	2021/05/26(水)	2時限	鈴木 浩悦	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル 授業内容	呼吸器系の他の機能/鳥類の呼吸			
8.	2021/06/02(水)	2時限	鈴木 浩悦	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル 授業内容	心臓と血管の構造：肉眼構造と基本特性			

9.	2021/06/09(水) 2時限	鈴木 浩悦	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル	心臓の電気生理学		
	授業内容			
10.	2021/06/16(水) 2時限	鈴木 浩悦	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル	心電図と不整脈		
	授業内容			
11.	2021/06/23(水) 2時限	鈴木 浩悦	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル	心臓の機械的活動		
	授業内容			
12.	2021/06/30(水) 2時限	鈴木 浩悦	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル	心臓の制御		
	授業内容			
13.	2021/07/07(水) 2時限	鈴木 浩悦	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル	循環系の調節		
	授業内容			
14.	2021/07/14(水) 2時限	鈴木 浩悦	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル	微小循環、リンパ及び浮腫		
	授業内容			

その他 ※100分の授業に対して、講義科目は200分、演習科目は50分の授業外学修時間が必要である。

科目No	210214000
ナンバリングコード	
科目名	獣医生理学III
学科	獣医学科
科目区分	必修
授業区分	講義
単位数	2
学年	2
単位認定者	
科目担当者	鈴木 浩悦 片山 健太郎 栃木 裕貴

全体目標 獣医生理学では、主として哺乳類の細胞や器官の機能に関する基本的知識を修得するとともに、生体内で起こる各種の情報伝達と生体恒常性維持の機序を理解し、調和のとれた個体の生命現象を統合的に捉える考え方を身につける。さらに、種の違いによる多様性について理解を深めるとともに、獣医学領域の疾患とそれに対する治療法を理解する上で生理学が基本となることを理解する。

獣医学教育
モデル・コア・カリキュラム/講義
科目番号

【1-7】

- 一般目標**
1. 腎臓の尿生成機能について学び、濾過・再吸収・濃縮の機序とその調節機構を理解する。
 2. 消化と吸収の機構について学び、単胃動物と複胃動物の違いを理解する。
 3. 消化管機能の調節について学び、その神経性・液性調節機構を理解する。
 4. 各種ホルモンの生合成と分泌調節及びその作用について学び、内分泌系による内部環境の統合調節の意義を理解する。
 5. 水・電解質の代謝を調節するホルモンについて学び、その恒常性維持機構を理解する。
 6. 成長と代謝を制御するホルモンについて学び、その制御機構について理解する。
 7. ストレスについて学び、動物のストレス反応について理解する。
 8. カルシウム代謝を調節するホルモンについて学び、骨の生理学を理解する。
 9. 恒温動物における熱産生と熱放散について学び、体温調節の機序を理解する。
 10. 雌雄の配偶子がどのように形成されるか、受精後どのように妊娠が維持され分娩に至るかを理解する。

獣医学教育
モデル・コア・カリキュラム/内容
番号

【10, 17-21】

事前履修科目・履修に必要な予備知識や技能 生理学IおよびIIの知識が定着していることが望ましい。特に、恒常性の維持や、血液の性状、神経の基礎について理解されている前提で講義する。構造と機能は表裏一体であり、同時進行中の解剖学や組織学が参考になるだろう。

遠隔授業を中心とする。学修支援システムを介して講義資料と解説動画を提供する。視聴

履修上の留意点	の有無をチェックし、成績に反映させるので、必ず視聴すること。リアルタイムないし対面講義を行う場合は、事前に通知する。不明なことがあれば、メール等で連絡してもらえれば対応する。
授業期間を通して出される課題	毎回の講義において、簡単なレポートの提出と、確認テストの受験を必須とする。
授業外学修の具体的な指示、時間の目安	解説動画の一回の視聴で内容が理解できない場合は、繰り返し視聴することで、授業の理解に役立つ。課題レポートは教科書を読み、対応部分を抜粋することで、解答できる形のもので、これを行うことで教科書の内容の理解につながる（約100分間）講義内容を網羅した確認テストを解答することで講義内容の定着を目指す（100分間）。これらの過程でわからないことは、メール等で連絡してもらえれば回答する。場合によってはその内容を学習支援システムを介して履修者全員で共有する。
テキスト、参考文献他	教科書としてデュークス獣医生理学（学窓社）を指定する。参考図書として生理学ガイドブック（無料配布）、シンプル生理学（南江堂）、ギャノン生理学（丸善）、標準生理学（医学書院）、ガイトン生理学（エルゼビア）などを推奨する。
授業形態	教科書およびスライドを用いた講義動画を主体とする。レポートおよび確認テストにより内容の理解と定着を目指す。質問はメール等で常に受け付ける。回答はできる限り速やかに行い、重要なものは全体で共有する。

	種別	評価割合(%)	評価方法
成績評価基準	定期試験	50	定期試験期間内に実施する予定。状況により、視聴状況、レポート提出、確認テストの成績などによってのみの評価に切り替える。
	レポート試験	25	原則毎回の講義でレポート有り
	平常点評価	25	視聴状況と確認テストの結果。
	評価のフィードバック方法 再試験	定期試験の評価結果を本人に開示し、質問を受け付ける。 原則行わないが、状況により行うことがある。	

成績評価基準（ループリック）

概要・スケジュール

回数	年月日	時限	担当者	教室	授業形式
1.	2021/09/27(月)	2時限	鈴木 浩悦	E111	講義
	タイトル 授業内容	腎臓の構造と発生学			
2.	2021/10/04(月)	2時限	鈴木 浩悦	E111	講義
	タイトル 授業内容	糸球体濾過と尿細管における輸送			
3.	2021/10/11(月)	2時限	鈴木 浩悦	E111	講義
	タイトル 授業内容	糸球体濾過の調節と腎クリアランス			
4.	2021/10/18(月)	2時限	鈴木 浩悦	E111	講義
	タイトル 授業内容	腎臓と内分泌：腎不全からの考察/（鳥類の腎機能）			
5.	2021/10/25(月)	2時限	鈴木 浩悦	E111	講義
	タイトル 授業内容	消化の総論、胃腸管の運動			
6.	2021/11/01(月)	2時限	鈴木 浩悦	E111	講義
	タイトル 授業内容	胃腸管の分泌作用			
7.	2021/11/15(月)	2時限	鈴木 浩悦	E111	講義
	タイトル 授業内容	栄養素の消化と吸収			
	2021/11/22(月)	2時限	鈴木 浩悦	E111	講義

8.	タイトル 授業内容	反芻動物の消化生理学と腸の微生物学			
		2021/11/29(月) 2時限	鈴木 浩悦	E111	講義
9.	タイトル 授業内容	鳥類の消化			
		2021/12/06(月) 2時限	片山 健太郎	E111	講義
10.	タイトル 授業内容	骨の生理学			
		2021/12/13(月) 2時限	栃木 裕貴	E111	講義
11.	タイトル 授業内容	内分泌総論、内分泌各論（代謝、成長）			
		2021/12/20(月) 2時限	栃木 裕貴	E111	講義
12.	タイトル 授業内容	内分泌各論（ストレス）、体温調節			
		2021/12/27(月) 2時限	片山 健太郎	E111	講義
13.	タイトル 授業内容	雄性生殖生理と鳥類の生殖			
		2022/01/17(月) 2時限	片山 健太郎	E111	講義
14.	タイトル 授業内容	雌性生殖生理と泌乳			

その他 ※100分の授業に対して、講義科目は200分、演習科目は50分の授業外学修時間が必要である。

科目No	210217000
ナンバリングコード	
科目名	獣医生化学II
学科	獣医学科
科目区分	必修
授業区分	講義
単位数	2
学年	2
単位認定者	
科目担当者	川角 浩 山本 一郎

全体目標	獣医生化学IIに引き続いて栄養成分（糖質、脂質、タンパク質）の代謝について概説する。代謝の臓器分とその相関、動物種特有の代謝機構から様々な疾病の発症メカニズムを生化学的に理解することを目的とする。
獣医学教育モデル・コア・カリキュラム/講義科目番号	【1-8】
一般目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 栄養成分の代謝について理解する。 2. 代謝の臓器分担とその相関および動物種特有の代謝機構について理解する。 3. 肥満、糖尿病、ガンを対象として、それぞれの生化学的変化から発症メカニズムを理解する。 4. 遺伝情報の伝達と発現様式およびその調節機構に関する基礎知識を理解する。 5. 細胞間の情報伝達と、それを細胞内に伝えるしくみに関する基礎知識を理解する。 6. 診断や病態の解析に用いられる分子生物学的手法に関する基礎知識を修得し、その原理を理解する。
獣医学教育モデル・コア・カリキュラム/内容番号	【9～18】
事前履修科目・履修に必要な予備知識や技能	獣医生化学Iの基礎知識を十分に理解しておくこと。獣医生化学IIは2年次前期の講義であるが、生理学、薬理学、微生物学、内科学等、他の教科と関連させて勉強することが望ましい。将来の獣医師像を思い浮かべながら、講義に臨んでほしい。
履修上の留意点	獣医生化学Iで使用したテキストを携帯すること。配布資料あるいはポータルサイトに事前にアップロードされた資料に基づき遠隔授業を致します。
授業期間を通して出される課題	授業期間中に出された課題および練習問題を勉強の資料として活用してください。
授業外学修の具体的な指示、時間	内容の理解を深めるために次回の講義で取り扱う項目を事前にテキストで確認しておくこと（100分） 復習として提出された各課題についてA4用紙一枚にまとめてください。（100分）

の目安

テキスト、参考文献他
 コアカリ対応した資料をテキストとして配布あるいはポータルサイトにアップロードする。
 参考書：よくわかる生化学（南山堂）、わかりやすい生化学（NOUVELLE HIROKAWA）、新体系看護学全書 栄養生化学（メチカルフレンド社）、新バイオテクノロジーテキストシリーズ 遺伝子工学 第2版（講談社）、改訂 獣医生化学（朝倉書店）

授業形態
 ポータルサイトにアップした資料に基づき遠隔授業を行います。

種別	評価割合(%)	評価方法
定期試験	0	大学教室での定期試験は行いません。
レポート試験	80	課題に対しての提出内容を評価致します
平常点評価	20	ポータルサイトにアップ予定の練習問題の解答について評価対象と致します。
評価のフィードバック方法		オフィスアワーからの問い合わせ、もしくは、直接のメールでの質問に対して、メールにて対応致します。
再試験		場合によっては課題の再提出を求めます

成績評価基準（ループリック）

概要・スケジュール

回数	年月日	時限	担当者	教室	授業形式
1.	2021/04/12(月)	2時限	川角 浩	遠隔授業	講義
	タイトル	糖質の代謝 1	解糖、糖新生		
	授業内容				
2.	2021/04/19(月)	2時限	川角 浩	遠隔授業	講義
	タイトル	糖質の代謝 2	ペントースリン酸経路、グリコゲン代謝		
	授業内容				
3.	2021/04/26(月)	2時限	川角 浩	遠隔授業	講義
	タイトル	クエン酸回路と酸化的リン酸化			
	授業内容				
4.	2021/05/10(月)	2時限	川角 浩	遠隔授業	講義
	タイトル	脂質の代謝 1	脂肪酸の合成		
	授業内容				
5.	2021/05/17(月)	2時限	川角 浩	遠隔授業	講義
	タイトル	脂質の代謝 2	脂肪酸分解、ケトン体生成		
	授業内容				
6.	2021/05/24(月)	2時限	川角 浩	遠隔授業	講義
	タイトル	アミノ酸と窒素化合物の代謝 1	アミノ酸の合成と分解		
	授業内容				
7.	2021/05/31(月)	2時限	川角 浩	遠隔授業	講義
	タイトル	アミノ酸と窒素化合物の代謝 2	尿素回路、ヌクレオチド代謝		
	授業内容				
8.	2021/06/07(月)	2時限	山本 一郎	遠隔授業	講義
	タイトル	遺伝情報の伝達と発現1			
	授業内容				
9.	2021/06/14(月)	2時限	山本 一郎	遠隔授業	講義
	タイトル	遺伝情報の伝達と発現2			
	授業内容				
10.	2021/06/21(月)	2時限	山本 一郎	遠隔授業	講義
	タイトル	細胞間情報伝達1			
	授業内容				
11.	2021/06/28(月)	2時限	山本 一郎	遠隔授業	講義
	タイトル	細胞間情報伝達2			
	授業内容				
	2021/07/05(月)	2時限	山本 一郎	遠隔授業	講義

12.	タイトル 授業内容	組換えDNA技術1			
	2021/07/12(月)	2 時限	山本 一郎	遠隔授業	講義
13.	タイトル 授業内容	組換えDNA技術2			
	2021/07/19(月)	2 時限	山本 一郎	遠隔授業	講義
14.	タイトル 授業内容	組換えDNA技術3			

その他 ※100分の授業に対して、講義科目は200分、演習科目は50分の授業外学修時間が必要である。

Copyright FUJITSU LIMITED 2005-2011

科目No	210219000
ナンバリングコード	
科目名	獣医薬理学I
学科	獣医学科
科目区分	必修
授業区分	講義
単位数	2
学年	2
単位認定者	
科目担当者	金田 剛治

全体目標	この授業の前半は、総論として薬力学（薬理作用）、薬物動態学および薬の有害作用について学ぶ。また、この授業の後半は、各論として中枢神経系に作用する薬物について学ぶ。
獣医学教育モデル・コア・カリキュラム/講義科目番号	【1-9】
一般目標	薬物の基本的な作用機序および作用の強さ、また生体内における薬の動きとそれに関与する要因について、また薬の有害作用について発現理由を説明できるようになる。中枢神経系に作用する薬物の薬理作用、機序、副作用、臨床応用、動物種差を説明できるようになることである。
獣医学教育モデル・コア・カリキュラム/内容番号	【1,2,3,6】
事前履修科目・履修に必要な予備知識や技能	薬理学で学ぶ内容は、生理学・生化学と共通する内容がある。
履修上の留意点	授業内容で理解できなかった内容は、授業終了後、質問するなどしてなるべく早く解決するよう心がけてほしい。
授業期間を通して出される課題	
授業外学修の具体的な指示、時間の目安	講義を受け自分のプリント等に記述した内容に関しては、その日うちに必ず10～15分で良いので見直すこと。さらに、理解できなかった内容は、教科書等で確認するか、次回の授業時に質問する内容をまとめておくこと。
テキスト、参考文献他	テキスト：獣医薬理学<第2版> 日本比較薬理学・毒性学会編 近代出版 参考図書：家畜薬理学 吐山著 養賢堂出版 小動物の薬物治療学 尾崎・浅井・辻元 編 オーム社

授業形態 授業形式を基本として、教科書とプリントを中心に講義を行い、時にはスライドによって学習する。

成績評価基準	種別	評価割合(%)	評価方法
	定期試験	80	学期末に定期試験（筆記試験）を行う（評価結果は学修支援システムより通知する）
	レポート試験	20	期間中に中間試験（筆記試験）を実施する（評価結果は学修支援システムより通知する）
	平常点評価	0	平常点はないが、出席の代わりとして小テストを実施する場合がある。
	評価のフィードバック方法 再試験		オフィスアワーからの問い合わせに対し、個別にフィードバックする予定である。 実施する

成績評価基準（ループリック）

概要・スケジュール

回数	年月日	時限	担当者	教室	授業形式
1.	2021/04/08(木)	2 時限	金田 剛治	E111	講義
	タイトル 薬と薬理学 授業内容 薬理学における薬の定義および薬理作用について解説する				
2.	2021/04/15(木)	2 時限	金田 剛治	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル 薬理作用の発現機構 授業内容 受容体に作用する薬を例に挙げ、作用の発現機構について概説する				
3.	2021/04/22(木)	2 時限	金田 剛治	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル 用量反応関係 授業内容 用量反応曲線を用いた薬と用量（濃度）の生体反応の関心の解析の仕方を説明する				
4.	2021/05/06(木)	2 時限	金田 剛治	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル 相互作用 授業内容 複数の薬を使用した場合の薬の相互作用について概説する				
5.	2021/05/13(木)	2 時限	金田 剛治	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル 薬の体内動態と薬理作用 授業内容 薬の体内動態と薬理作用について、薬の血漿中濃度の変化と薬理作用の発現について概説する				
6.	2021/05/20(木)	2 時限	金田 剛治	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル 生体内変化 授業内容 薬の生体での代謝、排泄について概説する				
7.	2021/05/27(木)	2 時限	金田 剛治	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル 薬の生体内での運命 授業内容 薬の排泄経路、血中動態パラメーターについて概説する				
8.	2021/06/03(木)	2 時限	金田 剛治	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル 中間試験 授業内容 第8回までの講義内容に関して中間試験を行う				
9.	2021/06/10(木)	2 時限	金田 剛治	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル 薬の作用と持続時間 授業内容 薬の作用の強さと持続時間を変化させる要因について例を挙げ説明する				
10.	2021/06/17(木)	2 時限	金田 剛治	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル 薬の有害作用、医薬品の基準と開発 授業内容 薬の有害作用について発現に関わる要因などについて概説する。また医薬品の基準と開発について概説する。				
11.	2021/06/24(木)	2 時限	金田 剛治	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル 全身麻酔薬 授業内容 全身麻酔薬について概説し、また吸入麻酔薬について説明する				
12.	2021/07/01(木)	2 時限	金田 剛治	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル	注射麻酔薬			

	授業内容	注射麻酔薬について各薬物の特徴を概説する		
	2021/07/08(木) 2 時限	金田 剛治	遠隔授業	遠隔授業
13.	タイトル	鎮静薬		
	授業内容	鎮静薬について各薬物の特徴について概説する		
	2021/07/15(木) 2 時限	金田 剛治	遠隔授業	遠隔授業
14.	タイトル	鎮痛薬		
	授業内容	代表的な2系統の鎮痛薬を挙げ、その特徴を説明する		

その他	出欠の毎回、実施する。出席が3分の2に達しないものは定期試験を受けることはできない。 ※100分の授業に対して、講義科目は200分、演習科目は50分の授業外学修時間が必要である。
-----	--

Copyright FUJITSU LIMITED 2005-2011

科目No	210220000
ナンバリングコード	
科目名	獣医薬理学II
学科	獣医学科
科目区分	必修
授業区分	講義
単位数	2
学年	2
単位認定者	
科目担当者	金田 剛治 神田 秀憲

全体目標	末梢神経系を分類し、臓器ごとに神経伝達物質、受容体、神経興奮に伴う作用の現れ方を理解し、関連する薬物について学習する。また、代表的なオータコイドとその受容体を列挙し、受容体が興奮したときの作用の現れ方について理解し、関連する薬物について学習する。
獣医学教育モデル・コア・カリキュラム/講義科目番号	【1-9】
一般目標	1. 末梢神経系の伝導、伝達に関連する薬物をあげ、薬理作用、機序、臨床応用、動物種差を説明できる。(コアカリ1-9-(5)関連) 2. 代表的なオータコイドとその受容体に関連する薬物をあげ、薬理作用、機序、臨床応用、動物種差を説明できる。(コアカリ1-9-(7)関連) 3. 動物の糖尿病や繁殖障害が生じるしくみを理解し、それらに関連する代表的な薬を挙げ、薬理作用、機序、副作用、臨床応用、動物種差を説明できる
獣医学教育モデル・コア・カリキュラム/内容番号	【5,7~9、13】
事前履修科目・履修に必要な予備知識や技能	薬理学I、生理学の内容は理解している前提で講義を進める。
履修上の留意点	対面講義を基本とするが、考慮すべき事情で対面講義に参加できない学生に対しオンライン講義を実施する予定である。ただし、オンライン講義を受講する学生には出席に該当する課題を課す。
授業期間を通して出される課題	講義内容に関して小テスト、レポートを課すことがある。
授業外学修の具体的な指示、時間	講義前には教科書や資料に目を通し、内容(含む生理学の履修内容)を確認しておく。(30分程度) 講義後は、学習内容や不明な点を整理しておくこと。(60分程度)

の目安	扱った薬物がどのように使用されているか調べてみるのもよい。
テキスト、参考文献他	テキスト：獣医薬理学（近代出版） 参考文献：グッドマン・ギルマン薬理書（廣川書店）、NEW薬理学（南江堂）、家畜薬理学（養賢堂）
授業形態	板書あるいはスライドによる講義。資料を配付することがある。

成績評価基準	種別	評価割合(%)	評価方法
	定期試験	80	学期末に定期試験を実施する (評価結果は学修支援システムより通知する)
	レポート試験	20	期間中に中間試験（筆記試験）を実施する (評価結果は学修支援システムより通知する)
	平常点評価	0	平常点はないが、出席の代わりとして小テストを実施する場合がある。
	評価のフィードバック方法	オフィスアワーからの問い合わせに対し、個別にフィードバックする予定である。	
再試験	実施する		

成績評価基準（ループリック）

概要・スケジュール

回数	年月日	時限	担当者	教室	授業形式
1.	2021/09/22(水)	2 時限	金田 剛治	B311 B312	講義
	タイトル	末梢神経系に作用する薬			
	授業内容	末梢神経系についてその分類と機能について概論する			
2.	2021/09/29(水)	2 時限	金田 剛治	B311 B312	講義
	タイトル	副交感神経系に作用する薬			
	授業内容	副交感神経系に作用する薬についてコリン作動薬および抗コリン薬を中心にその特徴を概説する			
3.	2021/10/06(水)	2 時限	金田 剛治	B311 B312	講義
	タイトル	自律神経節と神経筋接合部に作用する薬			
	授業内容	神経節に作用する薬および筋弛緩薬について概説する			
4.	2021/10/13(水)	2 時限	金田 剛治	B311 B312	講義
	タイトル	交感神経系に作用する薬			
	授業内容	交感神経系に作用する薬についてアドレナリン作動薬を中心に概説する			
5.	2021/10/27(水)	2 時限	金田 剛治	B311 B312	講義
	タイトル	交感神経系に作用する薬			
	授業内容	交感神経系に作用する薬について抗アドレナリン作動薬を中心に概説する			
6.	2021/11/10(水)	2 時限	金田 剛治	B311 B312	講義
	タイトル	局所麻酔薬			
	授業内容	局所麻酔薬についてその特徴を概説する			
7.	2021/11/17(水)	2 時限	金田 剛治	B311 B312	講義
	タイトル	中間試験			
	授業内容	第6回までの講義内容に関して中間試験を行う			
8.	2021/11/24(水)	2 時限	金田 剛治	B311 B312	講義
	タイトル	生理活性物質とその関連薬			
	授業内容	生理活性物質について概説し、ヒスタミンとその関連する薬について説明する			
	2021/12/01(水)	2 時限	金田 剛治	B311	講義

9.	タイトル 授業内容	レニン・アンジオテンシン系とその拮抗薬 レニン・アンジオテンシンに関連する薬について概説する		B312	
	2021/12/08(水) 2 時限	神田 秀憲		B311 B312	講義
10.	タイトル 授業内容	セロトニンとその拮抗薬 セロトニンとその拮抗薬について説明する		B311 B312	講義
	2021/12/15(水) 2 時限	神田 秀憲		B311 B312	講義
11.	タイトル 授業内容	サイトカイン類とビタミン サイトカイン類とビタミンについて説明する		B311 B312	講義
	2021/12/22(水) 2 時限	神田 秀憲		B311 B312	講義
12.	タイトル 授業内容	抗炎症薬 抗炎症薬について代表的な薬を挙げ、作用、作用機序、その適用について説明する		B311 B312	講義
	2021/12/28(火) 2 時限	金田 剛治		B311 B312	講義
13.	タイトル 授業内容	ホルモン・抗ホルモン薬 ホルモン・抗ホルモン薬について説明する		B311 B312	講義
	2022/01/12(水) 2 時限	金田 剛治		B311 B312	講義
14.	タイトル 授業内容	呼吸器系に作用する薬 呼吸器系に作用する薬について概説する			

その他 出欠の確認は毎回実施する。出席が3分の2に達しないものは定期試験を受けることはできない。

科目No	210224000
ナンバリングコード	
科目名	動物行動学
学科	獣医学科
科目区分	必修
授業区分	講義
単位数	2
学年	2
単位認定者	
科目担当者	横須賀 誠 中田 友明

全体目標	獣医学が対象とする様々な動物種について、種に特有あるいは種を超えて共通する行動様式と行動の発現機序を学ぶ。こうした知識を基盤に、アニマルウェルフェアに配慮した飼養管理や臨床行動学の基礎となる考え方を身につける。
獣医学教育モデル・コア・カリキュラム/講義科目番号	【1-11】
一般目標	動物行動学の基本概念を理解する。 家畜化を例に行動の変容について理解する。 哺乳類における行動の発達過程について理解する。 行動にみられる様々な周期性について理解する。 行動の動機づけと情動の発現に関わる脳機能について理解する。 行動の発現に関わる様々な生体物質の働きについて理解する。 動物のコミュニケーション行動について理解する。 動物の生殖行動について理解する。 動物の社会行動について理解する。 動物の維持行動について理解する。 動物の学習行動について理解する。 臨床行動学の概要について理解する。 アニマルウェルフェアの行動学的評価について理解する。
獣医学教育モデル・コア・カリキュラム/内容番号	【1～14】
事前履修科目・履修に必要な予備知識や技能	
履修上の留意点	獣医学教育モデル・コア・カリキュラム準拠 動物行動学をテキストとして準備すること。講義前に「授業資料」がポータルなどで公開・配布された時は授業前に予習をしておくこと。 また、本講義の受講に際しては定期試験の実施が出来ない状況にも備えて、受講者は各回

の出席を怠らないように十分に留意してください。さらに、課題がある場合は出席と併せて課題提出を怠らないように十分に留意して下さい

授業期間を通して出される課題

授業外学修の具体的な指示、時間の目安

内容の理解を深めるため、講義で取り扱う内容について（授業事前資料などを用いて）事前に目を通しておくこと（100分）。復習として、毎回の授業テーマについて見直しておくこと（100分）。

テキスト、参考文献他

獣医学教育モデル・コア・カリキュラム準拠 動物行動学（インターズー）

授業形態

講義室内での対面講義を原則としますが、社会情勢により講義室での講義実施が困難な場合はオンラインによる遠隔講義にて実施します。

	種別	評価割合(%)	評価方法
成績評価基準	定期試験	100	本科目の成績評価は、学則の定める単位認定に必要な出席回数（第21条3）を満たした受講者を対象に、定期試験（100%）の成績をもって行います。定期試験は、学期末に大学の講義室において対面にて実施することを原則とします。ただし、社会情勢により、講義室での定期試験の実施が出来ない可能性があります。
	レポート試験	0	行いません。定期試験の実施が困難となった場合、定期試験（100%）による成績評価を、レポート試験（100%）に変更の上、学則の定める単位認定に必要な出席回数と各回講義で設定される課題の評価をもって、レポート試験として評価する場合があります。この時、各回の課題は満7点の配点を有し、全14回分で合計98点満点として、59点（60%）以上を単位認定とします。
	平常点評価 評価のフィードバック方法	0	設定しません。
	再試験		提出課題やレポート等が有る場合は評価後に返却します。実施しません。ただし、学年全体の学習到達状況によっては、教務課、担任、学科長などとの協議の上、臨時試験の実施を検討する場合があります。

成績評価基準（ループリック）

概要・スケジュール

回数	年月日	時限	担当者	教室	授業形式
1.	2021/09/30(木)	2時限	横須賀 誠	B311 B312	講義
	タイトル 授業内容	動物行動学の基本概念			
2.	2021/10/07(木)	2時限	横須賀 誠	B311 B312	講義
	タイトル 授業内容	アニマルウェルフェア			
3.	2021/10/14(木)	2時限	中田 友明	B311 B312	講義
	タイトル 授業内容	行動の進化			

- 2021/10/21(木) 2 時限横須賀 誠 B311 講義
B312
4. タイトル 行動の動機づけと情動系
授業内容
- 2021/10/28(木) 2 時限中田 友明 B311 講義
B312
5. タイトル 行動の発達
授業内容
- 2021/11/11(木) 2 時限横須賀 誠 B311 講義
B312
6. タイトル 行動に影響する生理物質
授業内容
- 2021/11/18(木) 2 時限中田 友明 B311 講義
B312
7. タイトル 行動の周期性
授業内容
- 2021/11/25(木) 2 時限横須賀 誠 B311 講義
B312
8. タイトル 維持行動
授業内容
- 2021/12/02(木) 2 時限中田 友明 B311 講義
B312
9. タイトル 生殖行動
授業内容
- 2021/12/09(木) 2 時限横須賀 誠 B311 講義
B312
10. タイトル コミュニケーション行動
授業内容
- 2021/12/16(木) 2 時限横須賀 誠 B311 講義
B312
11. タイトル 社会行動
授業内容
- 2021/12/23(木) 2 時限横須賀 誠 B311 講義
B312
12. タイトル 行動変容と学習理論
授業内容
- 2022/01/06(木) 2 時限横須賀 誠 B311 講義
B312
13. タイトル 臨床行動学の基礎
授業内容
- 2022/01/13(木) 2 時限横須賀 誠 B311 講義
B312
14. タイトル 動物行動学と臨床行動学
授業内容

その他

科目No	210226000
ナンバリングコード	
科目名	獣医病理学I
学科	獣医学科
科目区分	必修
授業区分	講義
単位数	2
学年	2
単位認定者	
科目担当者	塚田 晃三 道下 正貴 町田 雪乃

全体目標	獣医病理学総論では、各種の病因によって起きる病的変化について、細胞レベル、組織レベル、器官レベルで観察される特徴的病変像およびその病態機序を学習する。
獣医学教育モデル・コア・カリキュラム/講義科目番号	【2-1】
一般目標	各種の病因によって起きる病的変化（細胞レベル、組織レベル、器官レベルで観察される特徴的病変像）およびその病態機序を説明できる。
獣医学教育モデル・コア・カリキュラム/内容番号	【1～10】
事前履修科目・履修に必要な予備知識や技能	予備知識として、生物学、免疫学、獣医解剖学、獣医生理学の知識が必要である。
履修上の留意点	「動物病理学総論」日本獣医病理学専門家協会編を教科書として使用する。
授業期間を通して出される課題	適宜実施する。
授業外学修の具体的な指示、時間の目安	授業30時間+授業外学修時間（予習・復習）60時間＝必要学習時間90時間
テキスト、参考文献他	テキスト：「動物病理学総論」日本獣医病理学専門家協会編 参考書：「動物病理カラーアトラス」日本獣医病理学専門家協会編 教員作成pdf
授業形態	遠隔講義用コンテンツの配布

種別	評価割合(%)	評価方法
----	---------	------

成績評価基準	定期試験	100	実施する 必要に応じて課題を与える。その場合は評価に加味する。 必要に応じて小テストを実施する。その場合は評価に加味する。
	レポート試験	0	
	平常点評価	0	
	評価のフィードバック方法	個別に対応する。 再試験 実施しない。	

成績評価基準 (ルーブリック)

概要・スケジュール

回数	年月日	時限	担当者	教室	授業形式
1.	2021/04/12(月)	1 時限	道下 正貴	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル	病理学の歴史と概念			
2.	2021/04/19(月)	1 時限	道下 正貴	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル	細胞の基本構造と機能および細胞傷害のメカニズム			
3.	2021/04/26(月)	1 時限	道下 正貴	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル	細胞および組織の傷害と死 (1)			
4.	2021/05/10(月)	1 時限	道下 正貴	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル	細胞および組織の傷害と死 (2)			
5.	2021/05/17(月)	1 時限	道下 正貴	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル	細胞の適応と分化異常			
6.	2021/05/24(月)	1 時限	道下 正貴	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル	細胞の増殖と分化およびその異常			
7.	2021/05/31(月)	1 時限	道下 正貴	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル	循環障害			
8.	2021/06/07(月)	1 時限	塚田 晃三	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル	炎症 (1)			
9.	2021/06/14(月)	1 時限	塚田 晃三	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル	炎症 (2)			
10.	2021/06/21(月)	1 時限	道下 正貴	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル	腫瘍 (1)			
11.	2021/06/28(月)	1 時限	道下 正貴	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル	腫瘍 (2)			
12.	2021/07/05(月)	1 時限	道下 正貴	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル	先天異常			
13.	2021/07/12(月)	1 時限	町田 雪乃	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル	毒性病理			
14.	2021/07/19(月)	1 時限	担当教員	遠隔授業	遠隔授業

タイトル 予備
授業内容

その他

Copyright FUJITSU LIMITED 2005-2011

科目No	210227000
ナンバリングコード	
科目名	獣医病理学II
学科	獣医学科
科目区分	必修
授業区分	講義
単位数	2
学年	2
単位認定者	
科目担当者	塚田 晃三 道下 正貴

全体目標	獣医病理学II（獣医病理学各論）では、獣医病理学I（獣医病理学総論）で習得した各種病的変化（病変）について、各種器官ごとに学習する。基本的な知識として各器官の解剖と生理について理解し、さらに、代表的な動物種に観察される各種器官の特徴的病変、病理学的分類、類症鑑別について学習する。
獣医学教育モデル・コア・カリキュラム/講義科目番号	【2-1】
一般目標	循環器系、血液および造血系、体腔、呼吸器系、消化器系、泌尿器系、生殖器系における、各動物種に観察される特徴的病変について理解し、説明できる。
獣医学教育モデル・コア・カリキュラム/内容番号	【11～16】
事前履修科目・履修に必要な予備知識や技能	予備知識として、生物学、獣医解剖学、獣医生理学、獣医病理学総論の習得が必要である。
履修上の留意点	教科書として使用する「動物病理学各論」日本獣医病理学専門家協会編の持参が必要である。
授業期間を通して出される課題	適宜実施する。
授業外学修の具体的な指示、時間の目安	授業 30 時間 + 授業外学修時間（予習・復習） 60 時間 = 必要学習時間 90 時間
テキスト、参考文献他	テキスト：「動物病理学各論」日本獣医病理学専門家協会編 参考書：「動物病理カラーアトラス」日本獣医病理学専門家協会編
授業形態	遠隔講義

	種別	評価割合(%)	評価方法
成績評価基準	定期試験	100	60点以上を合格にする
	レポート試験	0	必要に応じて課題を与える。提出された課題jは評価され、成績に加味する。
	平常点評価	0	必要に応じて小テストを実施する。小テスト結果は成績に加味する。
	評価のフィードバック方法 再試験	個別に対応する。 実施しない。	

成績評価基準 (ルーブリック)

概要・スケジュール

回数	年月日	時限	担当者	教室	授業形式
1.	2021/09/28(火)	2 時限	道下 正貴	B311 B312	講義
	タイトル	循環器系			
	授業内容	心臓の先天異常、心内膜症、心筋症、心内膜炎、心臓の腫瘍、血管炎、リンパ管炎、脈管の腫瘍			
2.	2021/10/05(火)	2 時限	道下 正貴	B311 B312	講義
	タイトル	血液および造血系 (1)			
	授業内容	骨髄と血液の疾患、リンパ節炎、リンパ腫			
3.	2021/10/12(火)	2 時限	道下 正貴	B311 B312	講義
	タイトル	血液および造血系 (2)			
	授業内容	脾臓、胸腺、ファブリキウス嚢の病変			
4.	2021/10/19(火)	2 時限	塚田 晃三	B311 B312	講義
	タイトル	体腔			
	授業内容	体腔における病変 (胸腔・腹腔の異常、感染症、脂肪壊死、腫瘍)			
5.	2021/10/26(火)	2 時限	塚田 晃三	B311 B312	講義
	タイトル	呼吸器系 (1)			
	授業内容	呼吸器系疾患の概念、鼻炎、気管炎			
6.	2021/11/02(火)	2 時限	塚田 晃三	B311 B312	講義
	タイトル	呼吸器系 (2)			
	授業内容	気管支肺炎、間質性肺炎、肉芽腫性肺炎、誤嚥性肺炎、類脂質性肺炎、尿毒症性肺炎、腫瘍など			
7.	2021/11/09(火)	2 時限	塚田 晃三	B311 B312	講義
	タイトル	消化器系 (1)			
	授業内容	産業動物の口腔・食道・胃・腸管の病変			
8.	2021/11/16(火)	2 時限	塚田 晃三	B311 B312	講義
	タイトル	消化器系 (2)			
	授業内容	小動物の口腔・食道・胃・腸管の病変			
9.	2021/11/30(火)	2 時限	塚田 晃三	B311 B312	講義
	タイトル	中間試験			
	授業内容	試験範囲は循環器系から呼吸器系まで			
10.	2021/12/07(火)	2 時限	道下 正貴	B311 B312	講義
	タイトル	消化器系 (3)			

	授業内容	肝臓の病変			
11.	2021/12/14(火) 2 時限	道下 正貴	B311 B312	講義	
	タイトル	消化器系 (4)			
	授業内容	胆嚢・胆管・膵臓の病変			
12.	2021/12/21(火) 2 時限	塚田 晃三	B311 B312	講義	
	タイトル	泌尿器系 (1)			
	授業内容	糸球体腎炎の分類、尿細管壊死			
13.	2022/01/11(火) 2 時限	塚田 晃三	B311 B312	講義	
	タイトル	泌尿器系 (2)			
	授業内容	腎盂腎炎、間質性腎炎、尿管・膀胱炎、泌尿器系の腫瘍			
14.	2022/01/18(火) 2 時限	道下 正貴	B311 B312	講義	
	タイトル	生殖器系			
	授業内容	雄性・雌性生殖器の病変			

その他 ※100分の授業に対して、講義科目は200分、演習科目は50分の授業外学修時間が必要である。

科目No 210232000

ナンバリングコード

科目名 獣医微生物学I

学科 獣医学科

科目区分 必修

授業区分 講義

単位数 2

学年 2

単位認定者

科目担当者 氏家 誠

全体目標

獣医学および獣医臨床に必要なウイルス学の基本的事項を学ぶ。動物の感染症および人獣共通感染症の起因ウイルスを感染宿主の動物種差を含めて理解するために、ウイルスの分類、構造、生態、増殖様式、感染様式、感染宿主に及ぼす影響、化学療法薬と耐性、滅菌と消毒に関する知識を修得し、診断、治療および予防を安全・確実に行うための能力を身につける。

獣医学教育
モデル・コ
ア・カリキ
ュラム/講義
科目番号

【2-3】

一般目標

1. ウイルス学の成り立ちを歴史的に理解する
2. ウイルスの構造に関する基礎知識ならびに動物ウイルスの分類法を修得する
3. ウイルスの培養と検出法に関わる基礎知識を修得する
4. ウイルス増殖の特徴、増殖環およびウイルスの変異に関わる基礎知識を修得する
5. 細胞レベルにおけるウイルス感染の様式に関わる基礎知識を修得する。
6. 個体レベルにおける感染の特徴および発症に関わる基礎知識を修得する
7. 各種ウイルスの微生物学的性状および引き起こす疾病に関わる基礎知識として、主な宿主、疾病名とその特徴を修得する
8. ウイルス感染症の検査法に関する基礎知識を理解し、それらを応用することができる。また、微生物の取扱いに関するバイオセイフティとバイオセキュリティの概念を理解する
9. ウイルス感染症の治療法に関する基礎知識を理解し、それらを応用することができる
10. 各種ウイルスワクチンの基礎知識を修得する
11. ウイルス感染症の予防接種に関する基礎知識を理解し、それらを応用することができる

獣医学教育
モデル・コ
ア・カリキ
ュラム/内容
番号

【8,9,10,11,12,13,16,18,19,20】

事前履修科
目・履修に
必要な予備
知識や技能

細胞分子生物学の中で、特に、核酸の合成、セントラルドグマ（転写・複製・翻訳）などの基礎知識を復習してから履修に臨む事。

履修上の留
意点

授業期間を通して出される課題 第6回に中間テストを行う。

授業外学修の具体的な指示、時間の目安
 予習：講義の資料に目を通し、指定教科書の当該項目を事前に読む事（100分）
 復習：授業で配布した資料に再度目を通し、重要項目を理解する事(100分)

テキスト、参考文献他
 テキスト：獣医微生物学第4版（文永堂出版）
 参考書：Principles of Virology The 3rd ed. (ASM Press)

授業形態 講義

	種別	評価割合(%)	評価方法
成績評価基準	定期試験	90	期末テストで評価
	レポート試験	0	なし
	平常点評価	10	動画視聴履歴・質問・出席状況等総合的に評価する
	評価のフィードバック方法 再試験		評価結果は学習支援システム等を通して通知する 実施する

成績評価基準（ルーブリック）

概要・スケジュール

回数	年月日	時限	担当者	教室	授業形式
1.	2021/09/24(金)	2時限	氏家 誠	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル 授業内容	第1回：ウイルス発見の歴史とウイルスの一般性状・分類 ※コロナ感染拡大のため、最初の2回は遠隔で行います。なお、3回目以降の授業形態は、コロナの感染状況によって決定します。			
2.	2021/10/01(金)	2時限	氏家 誠	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル 授業内容	第2回：ウイルスの増殖過程			
3.	2021/10/08(金)	2時限	氏家 誠	B311 B312	講義
	タイトル 授業内容	第3回：ウイルスの検出・培養方法 / ウイルスの変異 1			
4.	2021/10/15(金)	2時限	氏家 誠	B311 B312	講義
	タイトル 授業内容	第4回：ウイルスの変異2 / ウイルス発がん			
5.	2021/10/22(金)	2時限	氏家 誠	B311 B312	講義
	タイトル 授業内容	第5回：ウイルスの免疫 / ウイルスの病原性・個体レベルでのウイルス感染			
6.	2021/10/29(金)	2時限	氏家 誠	B311 B312	講義
	タイトル 授業内容	第6回：ウイルスを見る / ウイルスの起源 【中間テスト】			
7.	2021/11/12(金)	2時限	氏家 誠	B311 B312	講義
	タイトル 授業内容	第7回：DNAウイルスI(ポックス・アスファ・パルボ・サーコ科)			
8.	2021/11/19(金)	2時限	氏家 誠	B311 B312	講義
	タイトル				

	授業内容	第8回：DNAウイルスII（ヘルペスウイルス目・パピローマ科）			
	2021/11/26(金) 2時限	氏家 誠	B311 B312		講義
9.	タイトル				
	授業内容	第9回：DNAウイルスIII(アデノ・ポリオーマ科)/プラス鎖RNAウイルスI（ピコルナ目）			
	2021/12/03(金) 2時限	氏家 誠	B311 B312		講義
10.	タイトル				
	授業内容	第10回：プラス鎖RNAウイルスII（フラビ・トガ・カリシ科）			
	2021/12/10(金) 2時限	氏家 誠	B311 B312		講義
11.	タイトル				
	授業内容	第11回：プラス鎖RNAウイルスIII（ニド目）			
	2021/12/17(金) 2時限	氏家 誠	B311 B312		講義
12.	タイトル				
	授業内容	第12回：マイナス鎖RNAウイルスI（オルソミクソ科）			
	2021/12/24(金) 2時限	氏家 誠	B311 B312		講義
13.	タイトル				
	授業内容	第13回：マイナス鎖RNAウイルスII（モノネガ目・ブニヤ・アレナ科）			
	2022/01/07(金) 2時限	氏家 誠	B311 B312		講義
14.	タイトル				
	授業内容	第14回：逆転写酵素を持つウイルス/2本鎖RNAウイルス（レトロ・レオ・ビルナ科）			

その他

科目No	210039000
ナンバリングコード	V3BC0801
科目名	獣医免疫学
学科	獣医学科
科目区分	必修
授業区分	講義
単位数	2
学年	3
単位認定者	
科目担当者	塚田 晃三 土田 修一 倉田 修

全体目標	免疫学は、臨床および基礎を問わずすべての分野に関連する自己・非自己認識機構を体系的に理解するものである。免疫機構の特徴である特異性、多様性、記憶および寛容の機序を理解し、各種疾患（感染症、腫瘍、免疫不全、アレルギー、自己免疫性疾患等）および臓器移植における免疫機構の役割について知る。また、免疫機構を活用したワクチンや免疫療法の原理・技術に関する知識を習得し、他の教科との関連付けができる応用力を身に付ける。
獣医学教育モデル・コア・カリキュラム/講義科目番号	【2-2】
一般目標	<ol style="list-style-type: none"> 1.免疫系を担う細胞および分子を挙げ、それらの相互作用について説明できる。 2.免疫系における自己・非自己の認識について、各種細胞の発達・活性化について、抗原レセプターの多様性形成について、それらの機序を説明できる。 3.感染症における生体防御機構を説明できる。 4.過敏症分類における免疫介在性疾患を説明できる。 5.移植免疫および腫瘍免疫の機序を説明できる。免疫療法およびワクチンの原理を説明できる。免疫反応の検査法、モノクローナル抗体の作製法を説明できる。 6.動物種間で見られる主な免疫学的相違について説明できる
獣医学教育モデル・コア・カリキュラム/内容番号	【1～15】
事前履修科目・履修に必要な予備知識や技能	生物学、生化学、解剖学、組織学、細胞生物学、有機化学、分子生物学を修得していること、免疫学の理解は容易になる。
履修上の留意点	テキストに加え、学習支援システムに保管している講義資料を使用する。
授業期間を通して出される課題	7回分の講義後の課題（45点満点の評価点）（担当：塚田分）

授業外学修の具体的な指示、時間の目安	講義資料に目を通して、分からない用語などは事前にテキスト等で調べておく。講義後は、内容をまとめ、理解を深めること。これらの作業に必要な時間の目安は、予習100分、復習100分である。
テキスト、参考文献他	テキスト：リップンコットシリーズ イラストレイテッド免疫学（原著第2版、丸善出版）。講義資料：学習支援システムに保管。
授業形態	教室にて、担当教員が準備する資料およびテキストを用いた講義を行う。倉田担当分（1回～6回）については講義スライド資料、解説動画、理解度チェックテストおよび質問受付をLMSに登録し、その視聴による遠隔授業を行う。

	種別	評価割合(%)	評価方法
成績評価基準	定期試験	50	各教員の担当範囲毎に試験を行い、その合計点により評価する。倉田担当分（第1回～6回）については講義期間内にLMSにより実施する。 （評価結果は学習支援システムより通知する）
	レポート試験	45	7回分の講義後の課題（45点満点の評価点）（担当：塚田分）。 （評価結果は学習支援システムより通知する）
	平常点評価	5	倉田担当分（第1回～6回）についてはLMSに登録した授業資料の活用状況を成績評価の対象とする。
	評価のフィードバック方法	個別に対応する。	
	再試験	実施しない。	

成績評価基準（ルーブリック）

概要・スケジュール

回数	年月日	時限	担当者	教室	授業形式
1.	2021/04/09(金)	1 時限	倉田 修	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル	免疫学概論			
	授業内容	生体防御と免疫系、最前線バリアー、自己・非自己識別の重要性、自然免疫と獲得免疫、免疫系を担う組織・細胞・分子			
2.	2021/04/16(金)	1 時限	倉田 修	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル	補体系			
	授業内容	補体系を担う成分とその作用機序、免疫系における補体系の役割			
3.	2021/04/23(金)	1 時限	倉田 修	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル	B細胞の機能			
	授業内容	抗体の構造、抗体の特異性と多様性、B細胞の発達と活性化、免疫系における抗体の役割			
4.	2021/05/07(金)	1 時限	倉田 修	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル	T細胞の抗原認識			
	授業内容	T細胞受容体の構造、T細胞受容体の特異性と多様性、MHC拘束性、抗原提示細胞、T細胞の発達と活性化			
5.	2021/05/14(金)	1 時限	倉田 修	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル	T細胞と他の免疫細胞の機能			
	授業内容	T細胞サブセット、自然リンパ球、B細胞サブセット、マクロファージ、樹状細胞、顆粒球、パターン認識レセプター			
6.	2021/05/21(金)	1 時限	倉田 修	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル	サイトカインの役割・特殊な環境組織における免疫機構			
	授業内容	サイトカインによる免疫細胞の機能調節・制御、Th1/Th2の偏重、造血とサイトカイン、細胞走化性因子、粘膜免疫および免疫特権組織			

2021/05/28(金) 1 時限	土田 修一	遠隔授業	遠隔授業
7. タイトル	MHC		
授業内容	MHCの構造と機能		
2021/06/04(金) 1 時限	塚田 晃三	遠隔授業	遠隔授業
8. タイトル	感染における生体防御 1		
授業内容	ウイルス感染・細菌感染における免疫応答		
2021/06/11(金) 1 時限	塚田 晃三	遠隔授業	遠隔授業
9. タイトル	感染における生体防御 2		
授業内容	真菌および寄生虫感染における免疫応答		
2021/06/18(金) 1 時限	塚田 晃三	遠隔授業	遠隔授業
10. タイトル	過敏症 1		
授業内容	過敏症分類Iによる免疫介在性疾患の機序		
2021/06/25(金) 1 時限	塚田 晃三	遠隔授業	遠隔授業
11. タイトル	過敏症 2		
授業内容	過敏症分類IIによる免疫介在性疾患の機序		
2021/07/02(金) 1 時限	塚田 晃三	遠隔授業	遠隔授業
12. タイトル	過敏症 3		
授業内容	過敏症分類IIIによる免疫介在性疾患の機序		
2021/07/09(金) 1 時限	塚田 晃三	遠隔授業	遠隔授業
13. タイトル	移植免疫		
授業内容	輸血における拒絶反応、臓器移植における拒絶反応、異種移植		
2021/07/16(金) 1 時限	塚田 晃三	遠隔授業	遠隔授業
14. タイトル	腫瘍免疫		
授業内容	腫瘍の免疫回避機構、腫瘍のMHC提示抗原と細胞傷害性応答		

その他 ※100分の授業に対して、講義科目は200分、演習科目は50分の授業外学修時間が必要である。

科目No	210041000
ナンバリングコード	V3BC0901
科目名	獣医微生物学II
学科	獣医学科
科目区分	必修
授業区分	講義
単位数	2
学年	3
単位認定者	
科目担当者	片岡 康 木邊 量子

全体目標	細菌と真菌について、分類、微細構造、増殖と代謝、変異と遺伝、滅菌と消毒、化学療法薬と薬剤耐性、感染と発病に関する知識を習得することを目的とし、さらにグラム陽性菌と真菌感染症の診断、治療および予防を安全・確実に行うための能力を身につけることを目標とする。
獣医学教育モデル・コア・カリキュラム/講義科目番号	【2-3】
一般目標	1. 細菌と真菌の分類や微細構造などについて理解する。 2. 細菌と真菌の分類や微細構造などについて具体的に説明できる。 3. 細菌と真菌に関する基本的な知識を、グラム陽性菌と真菌感染症の診断、治療および予防に対して応用することができる。
獣医学教育モデル・コア・カリキュラム/内容番号	【1～7,14～17,19,20】
事前履修科目・履修に必要な予備知識や技能	「獣医微生物学I」の基礎知識を理解してから履修に臨むこと。
履修上の留意点	「獣医微生物学I」で使用した教科書を携帯すること。 授業中の発言・質疑など、主体的に授業に参加すること。
授業期間を通して出される課題	なし
授業外学修の具体的な指示、時間の目安	内容の理解を深めるために次回の講義で取り扱うテキストを事前に読むこと（100分） 復習として、毎回のテーマについてまとめておくこと（100分）
テキスト、参考文献他	教科書：獣医微生物学第4版（文永堂）、コアカリ獣医微生物学（文永堂） テキスト：学内LANに授業プリント（pdfファイル）を掲載

授業形態 遠隔授業

	種別	評価割合(%)	評価方法
成績評価基準	定期試験	95	学期末に定期試験を実施する
	レポート試験	0	
	平常点評価	5	動画の視聴を総合的に評価
	評価のフィードバック方法		評価結果は学修支援システムを通じて個別に通知
	再試験		実施しない

成績評価基準 (ループリック)

概要・スケジュール

回数	年月日	時限	担当者	教室	授業形式
1.	2021/04/08(木)	2 時限	片岡 康	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル	微生物学の歴史 微生物学のなりたちを歴史的に理解する。 授業内容 ・微生物の発見と経緯、その功績者について歴史的背景を学ぶ。 ・微生物の取扱手技がどのように発展してきたかを学ぶ。 ・微生物感染症の治療法及び予防法の歴史的発展について学ぶ。			
2.	2021/04/15(木)	2 時限	片岡 康	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル	細菌の分類と微細構造 授業内容 細菌の分類法とその意義を修得する。また、細菌細胞の構造に関する基礎的知識を、真核細胞との差異を含め修得する。			
3.	2021/04/22(木)	2 時限	木邊 量子	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル	細菌の増殖と代謝 授業内容 細菌の生育と増殖に関する基礎的知識を修得する。また、細菌を形成する構造とその機能、細菌の代謝に関する基礎的知識を真核細胞との差異を含め修得する。			
4.	2021/05/06(木)	2 時限	木邊 量子	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル	細菌の遺伝学 授業内容 細菌の遺伝現象に関する基礎的事項を、真核細胞との差異を含め修得する。また、細菌遺伝子の発現と調節に関わる基本的事項を修得する。			
5.	2021/05/13(木)	2 時限	片岡 康	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル	滅菌と消毒 授業内容 滅菌と消毒の違いと特徴を理解し、各種滅菌法並びに消毒法を適切に用いることを修得する。			
6.	2021/05/20(木)	2 時限	片岡 康	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル	化学療法と薬剤耐性 授業内容 細菌感染症の治療法に関する基本的事項を理解し、それらを応用することを学ぶ。また細菌が抗菌薬に対して耐性を示す薬剤耐性について学ぶ。			
7.	2021/05/27(木)	2 時限	片岡 康	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル	感染と宿主・寄生体関係 授業内容 動物が細菌に感染する仕組み、感染状態の維持、発症に至る過程に関わる基本的事項を修得する。また、細菌が産生する毒素の理化学的基礎、生体への作用を修得する。			
8.	2021/06/03(木)	2 時限	片岡 康	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル	グラム陽性球菌 授業内容 グラム陽性球菌の形態学的特徴、培養性状、生化学的性状、抗原性状および病原性について修得ると共に、それらによる感染症について学ぶ。			
9.	2021/06/10(木)	2 時限	木邊 量子	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル	グラム陽性芽胞形成菌1 授業内容 グラム陽性芽胞形成菌の形態学的特徴、培養性状、生化学的性状、抗原性状および病原性について修得ると共に、それらによる感染症について学ぶ。			
10.	2021/06/17(木)	2 時限	木邊 量子	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル	グラム陽性芽胞形成菌2 授業内容 グラム陽性芽胞形成菌の形態学的特徴、培養性状、生化学的性状、抗原性状および病			

	授業内容	原性について修得ると共に、それらによる感染症について学ぶ。		
11.	2021/06/24(木) 2時限	片岡 康	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル	グラム陽性無芽胞性桿菌		
	授業内容	グラム陽性無芽胞性桿菌の形態学的特徴、培養性状、生化学的性状、抗原性状および病原性について修得ると共に、それらによる感染症について学ぶ。		
12.	2021/07/01(木) 2時限	片岡 康	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル	放線菌関連菌		
	授業内容	放線菌関連菌の形態学的特徴、培養性状、生化学的性状、抗原性状および病原性について修得ると共に、それらによる感染症について学ぶ。		
13.	2021/07/08(木) 2時限	片岡 康	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル	放線菌関連菌（抗酸菌）		
	授業内容	放線菌関連菌（抗酸菌）の形態学的特徴、培養性状、生化学的性状、抗原性状および病原性について修得ると共に、それらによる感染症について学ぶ。		
14.	2021/07/15(木) 2時限	片岡 康	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル	真菌学総論・各論		
	授業内容	真菌の分類、発育環、生理学的特徴、形態学的特徴について学ぶ。真菌症の原因菌種名、宿主、症状について学ぶ。		

その他 ※100分の授業に対して、講義科目は200分、演習科目は50分の授業外学修時間が必要である。

科目No	210048000
ナンバリングコード	V3BC1601
科目名	動物感染症学I
学科	獣医学科
科目区分	必修
授業区分	講義
単位数	2
学年	3
単位認定者	
科目担当者	望月 雅美 氏家 誠

全体目標

産業動物（牛、馬、羊、山羊、豚）および伴侶動物（馬、犬、猫）の感染症を制御する考え方と主な感染症の病因、成立要因、発病機序、疫学、流行、病態生理、生体防御、診断、治療・予防および感染症を制御する基本的な方策と個々の感染症の制御法を関連法規、特に家畜伝染病予防法に基づき修得する

獣医学教育 モデル・コ ア・カリキ ュラム/講義 科目番号

【2-6】

一般目標

1. 宿主と病原体の関係、病原体の体内伝播、感染症の発病機序、感染症の成立に関する知識を修得する
2. 感染症の検査、診断、感染症から社会や実験者を守るバイオハザード対策に関する知識を修得する
3. 感染症の予防、治療、制御法に関する知識を修得する
4. 国内外に存在する国家の家畜衛生上重要な家畜伝染病について、疾病の概要とその防疫に関する知識を修得する
5. 「牛」「羊」「山羊」「馬」「豚」の法定伝染病の原因、疫学、病態生理、症状、診断法、治療法および予防法について学び、それぞれの感染症の特徴とその制御法に関する知識を修得する
6. ウサギの法定および届出伝染病の原因、疫学、病態生理、症状、診断法、治療法および予防法について学び、それぞれの感染症の特徴とその制御法に関する知識を修得する
7. 「牛」「羊」「山羊」「馬」「豚」の届出伝染病の原因、疫学、病態生理、症状、診断法、治療法および予防法について学び、それぞれの感染症の特徴とその制御法に関する知識を修得する
8. 「牛」「馬」「豚」「犬」「猫」の感染症の原因、疫学、病態生理、症状、診断法、治療法および予防法について学び、感染症の特徴とその制御法に関する知識を修得する

獣医学教育 モデル・コ ア・カリキ ュラム/内容 番号

【1～17】

事前履修科 目・履修に 必要な予備 知識や技能

獣医微生物学Iで学習したウイルス学の基本知識を十分に理解して、講義に臨むこと。

履修上の留意点

授業期間を通して出される課題

第3回目に小テストを、第9回目に中間テストを行う

授業外学修の具体的な指示、時間の目安

予習：2年時に学習した獣医微生物学Iを講義前に予習する（100分）
 復習：授業で配布された資料を十分理解するために復習し、それぞれの授業のテーマについてまとめておく（100分）

テキスト、参考文献他

教科書：動物の感染症 第3版(近代出版)、コアカリ動物感染症学(近代出版)、両方の教科書を購入する事をお勧めします

授業形態

講義

	種別	評価割合(%)	評価方法
成績評価基準	定期試験	90	期末テストで評価する
	レポート試験	0	実施しません
	平常点評価	10	動画視聴履歴・質問等総合的に評価する
	評価のフィードバック方法		評価結果は学修支援システム等を通じて通知する。
	再試験		実施する

成績評価基準（ルーブリック）

概要・スケジュール

回数	年月日	時限	担当者	教室	授業形式
1.	2021/09/30(木)	1時限	氏家 誠	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル	授業内容	第1回：感染症の成立、発症機序、病原体の伝播		
2.	2021/10/07(木)	1時限	氏家 誠	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル	授業内容	第2回：感染症の予防・治療・制御		
3.	2021/10/14(木)	1時限	氏家 誠	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル	授業内容	第3回：感染症の検査・診断とバイオハザード対策		
4.	2021/10/21(木)	1時限	氏家 誠	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル	授業内容	第4回：牛のウイルス性疾患1（法定伝染病を中心に）		
5.	2021/10/28(木)	1時限	氏家 誠	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル	授業内容	第5回：牛のウイルス性疾患2（法定伝染病を中心に）		
6.	2021/11/11(木)	1時限	氏家 誠	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル	授業内容	第6回：牛のウイルス性疾患3（アルボウイルス感染症）		
7.	2021/11/18(木)	1時限	氏家 誠	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル	授業内容	第7回：牛のウイルス性疾患4（アルボウイルス感染症を除く）		
8.	2021/11/25(木)	1時限	氏家 誠	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル	授業内容	第8回：宮崎県家保 行政による伝染病の阻止 ※コロナの状況により、中止の可能性あり		
9.	2021/12/02(木)	1時限	氏家 誠	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル	授業内容	第9回：山羊、羊のウイルス性疾患		

10.	2021/12/09(木) 1 時限	氏家 誠	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル			
	授業内容	第10回：豚のウイルス性疾患1（法定伝染病を中心に）		
11.	2021/12/16(木) 1 時限	氏家 誠	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル			
	授業内容	第11回：豚のウイルス性疾患2（届出伝染病を中心に）		
12.	2021/12/23(木) 1 時限	望月 雅美	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル			
	授業内容	第12回：馬のウイルス性疾患+犬・猫の重要なウイルス性疾患1		
13.	2022/01/06(木) 1 時限	望月 雅美	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル			
	授業内容	第13回：犬・猫の重要なウイルス性疾患2		
14.	2022/01/13(木) 1 時限	望月 雅美	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル			
	授業内容	第14回：犬・猫の重要なウイルス性疾患3		

その他 国立感染症研究所におけるウイルス分野（オルソミクソ・コロナウイルス科）の研究者としての経験を活かした実務経験に基づく授業を行う
 ※100分の授業に対して、講義科目は200分、演習科目は50分の授業外学修時間が必要である。

科目No	210051000
ナンバリングコード	V3BC1901
科目名	獣医寄生虫病学I
学科	獣医学科
科目区分	必修
授業区分	講義
単位数	1
学年	3
単位認定者	
科目担当者	池 和憲 森田 達志

全体目標	獣医臨床および公衆衛生上重要な寄生虫の分類、形態、生活環、病原性、流行の現状・疫学、診断、治療、予防および宿主の防御機構について理解し、寄生虫による病害発生の機序やその対策についての考え方を身につける。
獣医学教育モデル・コア・カリキュラム/講義科目番号	【2-7】
一般目標	<ol style="list-style-type: none"> 1.寄生虫の生物学や寄生現象および宿主-寄生体関係に関連する用語の意味を理解し、寄生虫学に関する基礎知識を修得する。さらに、寄生虫病の発生や重症化の機序、診断、治療および予防についてもその基礎知識を修得する。 2.獣医臨床および公衆衛生上重要な原虫類の生物学的特徴、感染症および駆虫薬についての基礎知識を修得する。 3.肉質鞭毛虫類およびアピコンプレックス類の重要種について、その生物学、疫学、病因・病理学および疾病制御に関連する基礎知識を修得する。 4.獣医臨床および公衆衛生上重要な節足動物性寄生虫の重要種について、その生物学、疫学、病因・病理学および疾病制御に関連する基礎知識を修得する。
獣医学教育モデル・コア・カリキュラム/内容番号	【1~4、12~14】
事前履修科目・履修に必要な予備知識や技能	「獣医寄生虫学」総論の専門用語の確認、および寄生虫の生活環の基本的な理解に努める。
履修上の留意点	事前配布資料を準備すること。
授業期間を通して出される課題	第5回目から7回目までは毎講義レポート提出を課す。
授業外学修の具体的な	予習として各寄生虫の生活環を理解すること（100分）。

指示、時間の目安 復習として各疾病の病因をまとめること（100分）。

テキスト、参考文献他 <テキスト>
最新 獣医寄生虫学・寄生虫病学 石井俊雄著／今井壯一編 講談社サイエンティフィック

授業形態 上記テキストの内容を基本に、スライドを用いて講述する。
また遠隔授業となった場合は学修支援システムを起点とした授業とする。

	種別	評価割合(%)	評価方法
成績評価基準	定期試験	80	学期末に定期試験を実施する。 社会情勢により実施困難な場合にはオンラインによる試験等、別途指示する。 社会情勢により実施する可能性があり、その際には別途指示する。
	レポート試験	20	第5回目から7回目に関してはレポート内容について成績として評価する（相当分野成績の40%）
	平常点評価	0	必要に応じて実施する可能性あり。 オフィスアワーからの問い合わせに対し、個別にフィードバックする。
	評価のフィードバック方法		希望者には答案を返却するか、担当者によっては返却しないものの開示解説する。
	再試験		原則実施しないが、その都度考慮する。

成績評価基準（ループリック）

概要・スケジュール

回数	年月日	時限	担当者	教室	授業形式
1.	2021/06/03(木)	1 時限	池 和憲	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル 獣医原虫学各論 (1) 授業内容 アピコンプレックス類概論、コクシジウム類概説、アイメリア、イソスポラ				
2.	2021/06/10(木)	1 時限	池 和憲	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル 獣医原虫学各論 (2) 授業内容 組織シスト形成コクシジウム				
3.	2021/06/17(木)	1 時限	池 和憲	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル 獣医原虫学各論 (3) 授業内容 住血孢子虫類、ピロプラズマ類				
4.	2021/06/24(木)	1 時限	池 和憲	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル 獣医原虫学各論 (4) 授業内容 鞭毛虫類、肉質虫類、繊毛虫類				
5.	2021/07/01(木)	集中	森田 達志	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル 獣医節足動物学 (1) 授業内容 獣医節足動物総論、節足動物各論I (ダニ-1：後気門目ダニ類)				
6.	2021/07/08(木)	集中	森田 達志	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル 獣医節足動物学 (2) 授業内容 節足動物各論I (ダニ-2：中気門目ダニ類、前気門目ダニ類、無気門目ダニ類)				
7.	2021/07/15(木)	集中	森田 達志	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル 獣医節足動物学 (3) 授業内容 節足動物各論II (昆虫)				

その他 ※100分の授業に対して、講義科目は200分、演習科目は50分の授業外学修時間が必要である。

科目No	210052000
ナンバリングコード	V3BC2001
科目名	獣医寄生虫病学II
学科	獣医学科
科目区分	必修
授業区分	講義
単位数	2
学年	3
単位認定者	
科目担当者	常盤 俊大 池 和憲

全体目標	獣医臨床および公衆衛生上重要な寄生虫（蠕虫）の分類、形態、生活環、病原性、流行の現状・疫学、診断、治療、予防および宿主の防御機構について理解し、寄生虫による病害発生の機序やその対策についての考え方を身につける。
獣医学教育モデル・コア・カリキュラム/講義科目番号	【2-7】
一般目標	1. 獣医臨床および公衆衛生上重要な吸虫類、条虫類、線虫類の生物学的特徴、感染症および駆虫薬についての基礎知識を修得する。 2. 吸虫類、条虫類、線虫類の重要種について、その生物学、疫学、病因・病理学および疾病制御に関連する基礎知識を修得する。 3. 寄生虫の検査法に関連する基礎知識を修得する。
獣医学教育モデル・コア・カリキュラム/内容番号	【5～15】
事前履修科目・履修に必要な予備知識や技能	「獣医寄生虫学」総論の専門用語の確認、および寄生虫の生活環の基本的な理解に努める。
履修上の留意点	事前配布資料を準備する。
授業期間を通して出される課題	
授業外学修の具体的な指示、時間の目安	予習として各寄生虫の生活環を理解する（100分）。 復習として各疾病の病因をまとめる（100分）。
テキスト、参考文献他	<テキスト> 最新版 獣医寄生虫学・寄生虫病学 講談社サイエンティフィク

授業形態 上記参考書等の内容を基本として、スライドや板書等をもとにした講義を行う。また社会的情勢により不可能な場合は講義内容に則して作製した講義動画を学習支援システムにより配信する。

成績評価基準	種別	評価割合(%)	評価方法
	定期試験	0	実施しない。
	レポート試験	40	学習支援システム「レポート」機能を使用して課題を提示し、学習支援システム内のレポート提出機能にてレポートを回収し、評価する。
	平常点評価	60	学修支援システム「テスト」機能を使用し、授業毎に実施する小テストにより評価する。また、学修支援システム「ディスカッション」機能での発言や授業内容に対する質問などの積極的な授業態度等について評価することがある。
	評価のフィードバック方法 再試験	オフィスアワーからの問い合わせに対し、個別にフィードバックする。 原則実施しないが、その都度考慮する。	

成績評価基準 (ルーブリック)

概要・スケジュール

回数	年月日	時限	担当者	教室	授業形式
1.	2021/09/27(月)	2時限 タイトル 獣医蠕虫学・条虫 (1) 授業内容 蠕虫学総論、条虫学総論	常盤 俊大	遠隔授業	遠隔授業
2.	2021/10/04(月)	2時限 タイトル 獣医蠕虫学・条虫 (2) 授業内容 条虫学各論：裂頭条虫、円葉条虫 (メソセストイデス、テニア類など)	常盤 俊大	遠隔授業	遠隔授業
3.	2021/10/11(月)	2時限 タイトル 獣医蠕虫学・条虫 (3) 授業内容 条虫学各論：円葉条虫 (テニア類、家畜・家禽の条虫、瓜実条虫、げっ歯類の条虫など)	常盤 俊大	遠隔授業	遠隔授業
4.	2021/10/18(月)	2時限 タイトル 獣医蠕虫学・吸虫 (1) 授業内容 吸虫学総論、吸虫学各論：肝蛭など	常盤 俊大	遠隔授業	遠隔授業
5.	2021/10/25(月)	2時限 タイトル 獣医蠕虫学・吸虫 (2) 授業内容 吸虫学各論：双口吸虫、脛蛭、槍形吸虫、壺形吸虫など	常盤 俊大	遠隔授業	遠隔授業
6.	2021/11/01(月)	2時限 タイトル 獣医蠕虫学・吸虫 (3) 授業内容 吸虫学各論：棘口吸虫、肺吸虫、肝吸虫、住血吸虫など	常盤 俊大	遠隔授業	遠隔授業
7.	2021/11/15(月)	2時限 タイトル 獣医蠕虫学・線虫 (1) 授業内容 線虫学総論、線虫学各論：回虫類 (1)	池 和憲	遠隔授業	遠隔授業
8.	2021/11/22(月)	2時限 タイトル 獣医蠕虫学・線虫 (2) 授業内容 線虫学各論：回虫類 (2) アニサキス、蟯虫類、円虫類 (1) 馬の円虫類	池 和憲	遠隔授業	遠隔授業
9.	2021/11/29(月)	2時限 タイトル 獣医蠕虫学・線虫 (3) 授業内容 線虫学各論：円虫類 (2) 反芻動物・豚の円虫類	池 和憲	遠隔授業	遠隔授業
10.	2021/12/06(月)	2時限 タイトル 獣医蠕虫学・線虫 (4) 授業内容 線虫学各論：円虫類 (3) 鉤虫類、肺虫類、開嘴虫類	池 和憲	遠隔授業	遠隔授業

11.	2021/12/13(月) 2 時限 タイトル 獣医蠕虫学・線虫 (5) 授業内容 線虫学各論：糞線虫類、眼虫類	池 和憲	遠隔授業	遠隔授業
12.	2021/12/20(月) 2 時限 タイトル 獣医蠕虫学・線虫 (6) 授業内容 線虫学各論：胃虫類、顎口虫類	池 和憲	遠隔授業	遠隔授業
13.	2021/12/27(月) 2 時限 タイトル 検査法 授業内容 線虫類各論：糸状虫類	池 和憲	遠隔授業	遠隔授業
14.	2022/01/11(火) 2 時限 タイトル 獣医蠕虫学・線虫 (7) 授業内容 線虫学各論：鞭虫類、毛細線虫類、旋毛虫類、腎虫類、鉤頭虫類	池 和憲	遠隔授業	遠隔授業

その他 ※100分の授業に対して、講義科目は200分、演習科目は50分の授業外学修時間が必要である。

科目No	210054000
ナンバリングコード	V4BD0201
科目名	動物衛生学
学科	獣医学科
科目区分	必修
授業区分	講義
単位数	2
学年	4
単位認定者	
科目担当者	和田 新平 田中 良和 落合 和彦

全体目標

産業動物を、アニマル・ウェルフェアの考え方に基づき生産性を確保しつつ健全に飼育し、安全な畜産物を得るために家畜衛生行政、飼育環境、疾病の予防・防除の重要性・必要性を学び、疾病を制御する基本的な方策を関連法規に基づき理解する。さらに、伴侶動物、展示動物、特用家畜、使役動物などの飼養・管理衛生を理解する。

獣医学教育 モデル・コ ア・カリキ ュラム/講義 科目番号

【3-1】

一般目標

1. 畜産と家畜衛生学の概要を学び、その意義と役割を理解する。
2. 家畜伝染性疾病に対する国内防疫と国際防疫について理解する。
3. 畜産食品・畜産物の生産段階におけるHACCPを活用した衛生管理方法（農場HACCP）による生産性の向上と食品の安全性の確保について理解する。
4. 飼育施設の清掃・消毒の方法と使用する消毒薬について理解する。
5. 家畜用ワクチンの種類とワクチネーションプログラムについて理解する。
6. 家畜の環境要因と健康・疾病との関係を理解し、環境諸要因の変化による生産性への影響について理解する。
7. 放牧された家畜における牧野環境と放牧病の関係を理解し、舎飼から放牧への馴致、入牧前後の健康診断、畜群監視と検診など放牧病対策について理解する。
8. 輸送される家畜の輸送環境・方法・時間と輸送関連疾患の関係を理解し、輸送病対策について理解する。
9. 乳牛の重要疾病である乳房炎をコントロールするための搾乳法ならびに乳房炎の検査と予防方法について理解する。
10. 豚の飼養状況、豚の成育段階における衛生・飼養管理とSPF養豚について理解する。

る。

- 1 1. 特用家畜の飼養状況・形態・衛生管理と疾病制御について理解する。
- 1 2. 伴侶動物、使役動物、展示動物の飼養・管理衛生の概要を理解する。
- 1 3. 家畜の中毒の発生機序を学び、飼料安全性と飼料添加物について理解する。
- 1 4. 家畜排せつ物と畜産環境管理、家畜糞尿の管理・処理方法、資源利用等による環境保全型農業について理解する。

獣医学教育
モデル・コア・カリキュラム/内容
番号

【1～15】

事前履修科目・履修に必要な予備知識や技能

- 1) 家畜の品種・生理について予備知識をもっておく。
- 2) 微生物学・感染症学について復習し、感染症の発生要因を理解しておく。
- 3) 産業動物の栄養・代謝について復習しておくこと。

履修上の留意点

授業前配布資料を事前に読んでおくこと。

授業期間を通して出される課題

指定しない

授業外学修の具体的な指示、時間の目安

内容理解のため、事前に講義資料を読んでおくこと（100分）。

講義後、テキスト・講義プリントを中心に復習すること（100分）。

テキスト、参考文献他

動物衛生学（文永堂）
動物の衛生（文永堂）
講義ごとに適宜、参考スライドを学習支援システムで開示する。

授業形態

遠隔授業による講義

	種別	評価割合(%)	評価方法
成績評価基準	定期試験	90	対面方式での試験を行う
	レポート試験	0	
	平常点評価	10	講義資料閲覧状況を総合的に評価する。
	評価のフィードバック方法		オフィスアワーからの問い合わせに対し、個別にフィードバックする。
	再試験		実施しない。

成績評価基準（ループリック）

概要・スケジュール

回数	年月日	時限	担当者	教室	授業形式
1.	2021/04/13(火)	1 時限	田中 良和	遠隔授業	講義
	タイトル	家畜衛生学の概要 1) 畜産と家畜衛生学の概要			
	授業内容	2) 家畜生産に関わる諸問題			

2.	2021/04/20(火)	1 時限	3) 動物疾病の現状 落合 和彦	遠隔授業	講義
	タイトル	家畜伝染病の国内防疫と国際防疫 1) 家畜伝染病予防法に基づく国内防疫の指針, 防疫体制, 伝染病の動向と疾病制御プログラムについて			
3.	2021/04/27(火)	1 時限	田中 良和	遠隔授業	講義
4.	2021/05/11(火)	1 時限	田中 良和	遠隔授業	講義
5.	2021/05/18(火)	1 時限	田中 良和	遠隔授業	講義
6.	2021/05/25(火)	1 時限	田中 良和	遠隔授業	講義
7.	2021/06/01(火)	1 時限	田中 良和	遠隔授業	講義
	2021/06/08(火)	1 時限	田中 良和	遠隔授業	講義

8.	授業内容	2) 放牧地の管理, 家畜の管理 3) 放牧病とその対策 4) 家畜の輸送に関して留意すべきこと 5) 輸送病の発生要因と予防対策			
	2021/06/15(火)	1 時限	田中 良和 成島 悦雄	遠隔授業	講義
9.	タイトル	展示動物の衛生管理I			
	授業内容	1) 展示動物の飼養および保管に関する基準 2) 展示動物の感染症とその蔓延防止と予防対策			
	2021/06/22(火)	1 時限	田中 良和	遠隔授業	講義
10.	タイトル	豚・鶏・特用家畜・ミツバチの管理衛生			
	授業内容	1) 豚の管理衛生 2) 鶏の管理衛生 3) 特用家畜の管理衛生 4) ミツバチの管理衛生			
	2021/06/29(火)	1 時限	落合 和彦	遠隔授業	講義
11.	タイトル	家畜の中毒と飼料安全性			
	授業内容	1) 家畜の中毒 2) ポジティブリスト制度と飼料安全法			
	2021/07/06(火)	1 時限	田中 良和	遠隔授業	講義
12.	タイトル	家畜排せつ物と畜産環境管理ならびに環境保全型農業への取り組み			
	授業内容	1) 家畜排せつ物と畜産に関する環境問題 2) 糞尿処理の基礎 3) 糞尿処理 4) 畜産関係の悪臭とその対策 5) 環境保全型農業への取り組み			
	2021/07/13(火)	1 時限	田中 良和	遠隔授業	講義
13.	タイトル	伴侶動物の衛生管理			
	授業内容	1) 伴侶動物の管理衛生 2) 感染症予防			
	2021/07/20(火)	1 時限	和田 新平	遠隔授業	講義
14.	タイトル	展示動物の衛生管理II			
	授業内容	水族館の展示動物に関する飼養および管理について			

その他 ※100分の授業に対して、講義科目は200分、演習科目は50分の授業外学修時間が必要である。

科目No	210059000
ナンバリングコード	V4BD0601
科目名	公衆衛生学I（環境衛生）
学科	獣医学科
科目区分	必修
授業区分	講義
単位数	2
学年	4
単位認定者	
科目担当者	落合 由嗣 高野 貴士 吉川 悠子

公衆衛生暫定スケジュール（4年終了までに総論、食品衛生学、環境衛生学、人獣共通感染症学を終了し、5年次はやり残しと公衆衛生行政に関連する法規を中心に講義する。）
4年前期では公衆衛生学総論と食品衛生学を行う。

全体目標
公衆衛生学総論
公衆衛生の基本的な考え方を理解し、公衆衛生に関連した様々な問題解決を行うためのアプローチの手法を通じて、国民の健康増進、動物福祉、地球環境保全等に役立ち得る知識を学ぶ。

食品衛生学
食品の安全を確保することを目的に、害を及ぼす要因、その作用機序を理解し、どのように安全を確保するかを理解することで食の安全確保を総合的に進めるための基礎知識を学ぶ。さらに、関連法規の概念ならびにその内容を理解する。

獣医学教育
モデル・コア・カリキュラム/講義
科目番号

【3-2,3-3】

公衆衛生学総論
(1)公衆衛生学の考え方と概要について説明できる。
(2)獣医公衆衛生学の役割と課題について説明できる。
(3)国民衛生の動向について説明できる。
(4)人と動物の共生と公衆衛生について説明できる。
(5)公衆衛生行政における行政組織について説明できる。
(6)公衆衛生行政における法規について説明できる。
(7)感染症とその対策について説明できる。

一般目標
食品衛生学
(1)食品衛生の定義と概要について説明できる。
(2)細菌性食中毒について説明できる。
(3)ウイルス性食中毒について説明できる。
(4)その他の食水系感染症について説明できる。
(5)自然毒による食中毒について説明できる。
(6)有害物質による健康障害について説明できる。
(7)食品添加物について説明できる。

- (8)生体反応により生じる食品の有害性について説明できる。
- (9)微生物統御と腐敗について説明できる。
- (10)食品衛生行政について説明できる。
- (11)食品衛生管理について説明できる。
- (12)乳・乳製品の衛生について説明できる。
- (13)食肉および食鳥肉の衛生について説明できる。
- (14)食卵の衛生について説明できる。
- (15)魚介類の衛生について説明できる。
- (16)野菜、果物の衛生について説明できる。

獣医学教育
モデル・コ
ア・カリキ
ュラム/内容
番号

【3-2(1)-(7), 3-3(1), 3-3(3)-(16)】

事前履修科
目・履修に
必要な予備
知識や技能

履修上の留
意点

授業期間を
通して出さ
れる課題

授業外学修
の具体的な
指示、時間
の目安

内容の理解を深めるために、次回の講義で取り扱う内容を事前に読むこと(100分)。
復習として、毎回のテーマについてまとめておくこと(100分)。

テキスト、
参考文献他

獣医公衆衛生学I・II（文永堂）、配付資料

授業形態

遠隔講義で実施する。

	種別	評価割合(%)	評価方法
成績評価基 準	定期試験	100	学期末に定期試験を実施する。(ただし、状 況により変更する可能性あり)
	レポート試験	0	実施しない
	平常点評価	0	なし
	評価のフィードバック方法 再試験	ポータルにて行う。 行わない。	

成績評価基
準（ループ
リック）

概要・スケジュール

回数	年月日	時限	担当者	教室	授業形式
1.	2021/04/13(火)	2時限	落合 由嗣	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル 授業内容	地域環境問題III 化学物質による水質汚濁、イタイイタイ病、水俣病等			
2.	2021/04/20(火)	2時限	落合 由嗣	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル 授業内容	地域環境問題IV			
3.	2021/04/27(火)	2時限	落合 由嗣	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル 授業内容	環境衛生I			

4.	2021/05/11(火) 2 時限 タイトル 授業内容	環境衛生II	落合 由嗣	遠隔授業	遠隔授業
5.	2021/05/18(火) 2 時限 タイトル 授業内容	環境衛生III	落合 由嗣	遠隔授業	遠隔授業
6.	2021/05/25(火) 2 時限 タイトル 授業内容	食品衛生概論・食品衛生行政	吉川 悠子	遠隔授業	遠隔授業
7.	2021/06/01(火) 2 時限 タイトル 授業内容	食品の衛生管理、安全性評価、食品の有害性(生体反応)	吉川 悠子	遠隔授業	遠隔授業
8.	2021/06/08(火) 2 時限 タイトル 授業内容	食品添加物	吉川 悠子	遠隔授業	遠隔授業
9.	2021/06/15(火) 2 時限 タイトル 授業内容	食品の常在微生物・変質	吉川 悠子	遠隔授業	遠隔授業
10.	2021/06/22(火) 2 時限 タイトル 授業内容	食品微生物の増殖促進・抑制、微生物制御	吉川 悠子	遠隔授業	遠隔授業
11.	2021/06/29(火) 2 時限 タイトル 授業内容	食中毒発生とその動向(1) 化学性食中毒(有害物質)	吉川 悠子	遠隔授業	遠隔授業
12.	2021/07/06(火) 2 時限 タイトル 授業内容	食中毒発生とその動向(2) 自然毒	落合 由嗣	遠隔授業	遠隔授業
13.	2021/07/13(火) 2 時限 タイトル 授業内容	食中毒発生とその動向(3) ウイルス性食中毒	高野 貴士	遠隔授業	遠隔授業
14.	2021/07/20(火) 2 時限 タイトル 授業内容	経口感染症(食水系感染症を含む)、食品衛生管理: 卵、乳、食肉、魚の衛生(食肉処理場の衛生管理を含む)	落合 由嗣	遠隔授業	遠隔授業

その他 ※100分の授業に対して、講義科目は200分、演習科目は50分の授業外学修時間が必要である。

科目No	210064000
ナンバリングコード	V4BD0801
科目名	毒性学I
学科	獣医学科
科目区分	必修
授業区分	講義
単位数	1
学年	4
単位認定者	
科目担当者	田島 剛

全体目標	化学物質が、人や動物そして環境に及ぼす有害作用を理解し、その防止における獣医師の役割を理解する。化学物質の生体での有害作用と体内動態、毒性発現のメカニズムについて学び、毒性学における網羅性の重要性を理解するとともに、リスク解析や規制方法について理解する。
獣医学教育モデル・コア・カリキュラム/講義科目番号	【3-6】
一般目標	(1) 毒性学と社会について説明できる。 (2) 化学物質の体内動態について説明できる。 (3) 毒性試験の実施と評価について説明できる。 (4) 化学物質の有害作用とその管理・規制について説明できる。 (5) 化学物質のリスクアナリシスについて説明できる。 (6) 遺伝毒性、発がん性について説明できる。 (7) 生殖発生毒性について説明できる。
獣医学教育モデル・コア・カリキュラム/内容番号	【1～7、21】
事前履修科目・履修に必要な予備知識や技能	
履修上の留意点	
授業期間を通して出される課題	
授業外学修の具体的な	内容の理解を深めるために、次回の講義で取り扱う部分の教科書・レジюмеを事前に読む(40分)。 次回講義に関連する既修得科目の内容を復習する(60分)。

指示、時間の目安	<p>「配信講義の視聴」</p> <p>講義終了後、講義内容に関する設問に回答する（30分）。 講義内容や提出した課題で添削された部分について復習しまとめる(70分)。</p>
テキスト、参考文献他	<p>テキスト：獣医毒性学 第2版（近代出版）</p> <p>参考文献：トキシコロジー 第3版（朝倉書店）、Casarett & Doulls Toxicology The Basic Science of Poisons 9th Ed. (McGraw-Hill Education)</p>
授業形態	遠隔授業（オンデマンド）で実施する。講義の視聴と講義ごとに設定される課題・設問への解答をもって学則上の出席とする。添削指導、質疑応答等は本学のポータルで行う。

	種別	評価割合(%)	評価方法
成績評価基準	定期試験	80	定期試験期間中に対面型の筆記試験を実施する。
	レポート試験	0	実施しない
	平常点評価	20	各講義で実施する小テストおよび提出課題を総合して評価する。
	評価のフィードバック方法	ポータルにて行う。	
	再試験	臨時試験を実施する場合は補講期間中に行う。	

成績評価基準（ループリック）

概要・スケジュール

回数	年月日	時限	担当者	教室	授業形式
1.	2021/11/22(月)	2 時限	田島 剛	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル	毒性学と社会			
	授業内容	化学物質による健康被害や環境汚染の歴史的な流れと社会的な重要性を説明できるようになる。具体的な薬害事件の事例について発生した背景などを含めて学習し、毒性学を学ぶ重要性について理解を深める。			
2.	2021/11/29(月)	2 時限	田島 剛	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル	毒性の発現様式と発現機序			
	授業内容	化学物質による毒性の発現様式と、その発現に影響を与える因子について学ぶ。			
3.	2021/12/06(月)	2 時限	田島 剛	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル	化学物質の生体内動態			
	授業内容	生体における化学物質の動態ならびに影響を与える因子について理解するとともに、実際の測定データの解析をPCで行い、その評価手法を学ぶ。			
4.	2021/12/13(月)	2 時限	田島 剛	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル	毒性試験の実施と評価			
	授業内容	毒性試験の種類と方法および評価法について、それらの指標とともに学ぶ。合わせて、安全性薬理試験およびGood Laboratory Practice (GLP) の目的と内容を説明できるようになる。			
5.	2021/12/20(月)	2 時限	田島 剛	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル	リスク分析とその公的基盤			
	授業内容	毒性学におけるハザード・リスクの概念を理解するとともに、化学物質により毒性が発現する確率の評価法と判定について理解し、その回避方法や法規制を説明できるようになる。			
6.	2021/12/27(月)	2 時限	田島 剛	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル	遺伝毒性・発がん性			
	授業内容	遺伝毒性・発がん性について理解し、遺伝毒性物質および発がん性物質の毒性発現の機序や特徴を理解する。遺伝毒性試験、発がん性試験の方法について学ぶ。			
7.	2022/01/17(月)	2 時限	田島 剛	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル	生殖発生毒性			
	授業内容	生殖発生毒性について理解し、生殖発生毒性物質と試験方法について学ぶ。			

その他 ※100分の授業に対して、講義科目は200分、演習科目は50分の授業外学修時間が必要であ

る。

Copyright FUJITSU LIMITED 2005-2011

科目No	210110000
ナンバリングコード	V4BE3101
科目名	獣医臨床繁殖学I
学科	獣医学科
科目区分	必修
授業区分	講義
単位数	2
学年	4
単位認定者	
科目担当者	堀 達也 小林 正典

全体目標	獣医臨床繁殖学Iでは、雌雄の生殖器の構造と機能・性ホルモン・発情周期・卵子の成熟と精子の形成・人工授精・繁殖の人為的調節技術・受精と妊娠および分娩について理解および修得する。（講義科目番号：4-23）
獣医学教育モデル・コア・カリキュラム/講義科目番号	【4-23】
一般目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各種動物における雌雄の生殖器の構造と機能の特徴について理解する。 2. 様々な種類の性ホルモンの作用について理解する。 3. 卵子の成熟および精子の形成について理解する。 4. 各種動物の発情周期の特徴について理解する。 5. 各種動物の人工授精法および最新の繁殖技術について理解する。 6. 受精・妊娠および分娩の機序について理解する。
獣医学教育モデル・コア・カリキュラム/内容番号	【1～12】
事前履修科目・履修に必要な予備知識や技能	解剖学・組織学・生理学・生化学の中の生殖生理学に関連した内容を十分に理解しておく。
履修上の留意点	「動物臨床繁殖学」の教科書を携帯すること。
授業期間を通して出される課題	特になし。
授業外学修の具体的な指示、時間の目安	講義内容を深く理解するため、次回の講義に関する教科書のページを読んでおくこと（100分）。 講義を受けた内容の復習を行うこと（100分）。
テキスト、	使用する教科書：「動物臨床繁殖学」（朝倉書店）

参考文献他 毎回の講義で、参考資料としてプリントを配布する。

授業形態 遠隔授業で実施する。

成績評価基準	種別	評価割合(%)	評価方法
	定期試験	100	定期試験期間内に実施 (評価結果は掲示または学習支援システムにより通知する)
レポート試験	0	実施しない。	
平常点評価	0	実施しない。	
評価のフィードバック方法	評価結果は個別に公開する。		
再試験	原則的に実施しない。		

成績評価基準 (ルーブリック)

概要・スケジュール

回数	年月日	時限	担当者	教室	授業形式
1.	2021/09/30(木)	2時限	小林 正典	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル				
	授業内容				雄の生殖器の特徴と性ホルモン
2.	2021/10/07(木)	2時限	小林 正典	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル				
	授業内容				精子の形成と勃起・射精
3.	2021/10/14(木)	2時限	堀 達也	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル				
	授業内容				雌の生殖器の特徴と性ホルモン
4.	2021/10/21(木)	2時限	堀 達也	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル				
	授業内容				生殖機能と性ホルモン
5.	2021/10/28(木)	2時限	堀 達也	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル				
	授業内容				性成熟と性ホルモン
6.	2021/11/11(木)	2時限	堀 達也	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル				
	授業内容				卵子の成熟と排卵
7.	2021/11/18(木)	2時限	堀 達也	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル				
	授業内容				牛・馬の発情周期
8.	2021/11/25(木)	2時限	堀 達也	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル				
	授業内容				豚・綿羊・山羊の発情周期
9.	2021/12/02(木)	2時限	堀 達也	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル				
	授業内容				犬・猫の発情周期
10.	2021/12/09(木)	2時限	堀 達也	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル				
	授業内容				人工授精と繁殖技術
11.	2021/12/16(木)	2時限	担当教員	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル				
	授業内容				受精および着床
12.	2021/12/23(木)	2時限	小林 正典	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル				
	授業内容				妊娠の生理と子宮外妊娠
13.	2022/01/06(木)	2時限	小林 正典	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル				
	授業内容				妊娠診断
	2022/01/13(木)	2時限	小林 正典	遠隔授業	遠隔授業

14. タイトル
授業内容 分娩の機序

その他

※本科目を担当する教員は、本学動物医療センターの獣医師等であり、実務経験をもとに授業を行う。

※100分の授業に対して、講義科目は200分、演習科目は50分の授業外学修時間が必要である。

科目No	210004000
ナンバリングコード	V6BA0401
科目名	獣医事法規
学科	獣医学科
科目区分	必修
授業区分	講義
単位数	2
学年	6
単位認定者	
科目担当者	牧野 ゆき

全体目標	獣医事法規では、獣医師の業務と関連する法規の概要を理解することを目標とする。関連諸法規を、社会情勢の変化や、具体的な問題と関連づけて学ぶことを通して、獣医師に必要な法的知識を身につけ、獣医師を取り巻く環境を法的側面からとらえることをめざす。
獣医学教育モデル・コア・カリキュラム/講義科目番号	【1-3】
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 獣医師や獣医療、動物と関連する諸法規の概要を理解し、説明できる。 ・ 獣医師が各分野において果たすべき役割や社会的責任について理解し、説明できる。 ・ 獣医師及び獣医療を取り巻く国内外の社会情勢に目を向けることができる。
獣医学教育モデル・コア・カリキュラム/内容番号	【1～10】
事前履修科目・履修に必要な予備知識や技能	
履修上の留意点	講義で取り扱う事項に限らず、日頃より獣医師や獣医療、動物等にかかわる社会的問題に目を向け、自分なりの見解を示せるようにしてほしい。
授業期間を通して出される課題	
授業外学修の具体的な指示、時間の目安	<p>予習として、次回講義で取り上げる内容について、資料の該当箇所を読んでおく（100分）。</p> <p>復習として、講義内容についてまとめ、関連する事項について各種メディアで確認する（100分）。</p>
テキスト、参考文献他	<p>学修支援システムより資料を配布する。</p> <p>テキスト：池本卯典・吉川泰弘・伊藤伸彦監修『獣医事法規』（緑書房）</p> <p>参考文献：池本卯典・小方宗次 編『獣医学概論』（文永堂出版）</p> <p>e-Gov法令検索 https://elaws.e-gov.go.jp/</p>

授業形態 講義

	種別	評価割合(%)	評価方法
成績評価基準	定期試験	0	実施しない。
	レポート試験	100	課題の提出による。
	平常点評価	0	
	評価のフィードバック方法		メール等にて対応する。
	再試験		実施しない。

成績評価基準 (ルーブリック)

概要・スケジュール

回数	年月日	時限	担当者	教室	授業形式
1.	2021/04/08(木)	2 時限	牧野 ゆき	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル	オリエンテーション			
	授業内容	法の基礎知識			
2.	2021/04/15(木)	2 時限	牧野 ゆき	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル	獣医事関連法規 (1)			
	授業内容	獣医師法 (1)			
3.	2021/04/22(木)	2 時限	牧野 ゆき	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル	獣医事関連法規 (2)			
	授業内容	獣医師法 (2)			
4.	2021/05/06(木)	2 時限	牧野 ゆき	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル	獣医事関連法規 (3)			
	授業内容	獣医療法			
5.	2021/05/13(木)	2 時限	牧野 ゆき	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル	家畜衛生行政関連法規 (1)			
	授業内容	家畜衛生組織 (家畜保健衛生所法)、国際機関、家畜伝染病予防法			
6.	2021/05/20(木)	2 時限	牧野 ゆき	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル	家畜衛生行政関連法規 (2)			
	授業内容	牛海綿状脳症対策特別措置法、牛の個体識別のための情報の管理及び伝達に関する特別措置法、飼料の安全性の確保及び品質の改善に関する法律、愛がん動物用飼料の安全性の確保に関する法律			
7.	2021/05/27(木)	2 時限	牧野 ゆき	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル	公衆衛生行政関連法規 (1)			
	授業内容	と畜場法、食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律、化製場等に関する法律			
8.	2021/06/03(木)	2 時限	牧野 ゆき	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル	公衆衛生行政関連法規 (2)			
	授業内容	食品衛生法、食品安全基本法			
9.	2021/06/10(木)	2 時限	牧野 ゆき	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル	公衆衛生行政関連法規 (3)			
	授業内容	狂犬病予防法、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律、検疫法、地域保健法、公衆衛生組織			
10.	2021/06/17(木)	2 時限	牧野 ゆき	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル	動物の輸出入に関する法規			
	授業内容	家畜伝染病予防法、狂犬病予防法、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律			
11.	2021/06/24(木)	2 時限	牧野 ゆき	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル	薬事関連法規 (1)			
	授業内容	医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律			
12.	2021/07/01(木)	2 時限	牧野 ゆき	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル	薬事関連法規 (2)			
	授業内容	麻薬及び向精神薬取締法、覚醒剤取締法、毒物及び劇物取締法			

13.	2021/07/08(木) 2 時限	牧野 ゆき	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル	環境行政関連法規（1）		
	授業内容	動物の愛護及び管理に関する法律、特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律		
14.	2021/07/15(木) 2 時限	牧野 ゆき	遠隔授業	遠隔授業
	タイトル	環境行政関連法規（2）		
	授業内容	ワシントン条約、絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律、ラムサール条約、廃棄物の処理及び清掃に関する法律		

その他 ※100分の授業に対して、講義科目は200分、演習科目は50分の授業外学修時間が必要である。